

平成 29 年度

事業報告書
収支決算書

平成29年4月 1日から
平成30年3月31日まで

目 次

平成29年度 事業報告書

《 平成29年4月1日から平成30年3月31日まで 》

I. 実施事業

1. 人材確保及び技術・技法継承事業・ 1
2. 産地指導事業・ 4
3. 普及推進事業・ 6
4. 需要開拓事業・ 1 5
5. その他の振興事業・ 1 9

II. 法人の概況

1. 設立年月日・ 2 1
2. 定款に定める目的・ 2 1
3. 定款に定める事業内容・ 2 1
4. 会員の状況・ 2 1
5. 主たる事務所の状況・ 2 1

III. 役員会等に関する事項

1. 理事会の開催・ 2 2
2. 評議員会の開催・ 2 3
3. 伝統的工芸品産地連絡会議の開催・ 2 3
4. 業務執行会議の開催・ 2 3

IV. 庶務事項

1. 基本財産の造成・ 2 5
2. 収支及び正味財産増減の状況並びに
財産の状態の推移・ 2 5
3. その他の庶務事項・ 2 5
4. 会員名簿・ 2 7
5. 作成資料等一覧・ 3 3

平成29年度 収支決算書

《 平成29年4月1日から平成30年3月31日まで 》

- I. 財務諸表・ 3 5

平成29年度事業報告書

《平成29年4月1日から平成30年3月31日まで》

I. 平成29年度実施事業

1. 人材確保及び技術・技法継承事業

伝統的工芸品産業の根幹である伝統的技術・技法を継承するため、各産地でこれらを担う伝統工芸士の認定事業では、実技試験の視察を行うことで試験の厳正化を強化した。

功労者褒賞では、産地で功績をあげた方に加えて、新たに意欲的な取組を評価される若手奨励を行った。

「児童・生徒の教育事業」では、工芸品製作体験をさせるだけでなく、暮らしの中での和の味わいと関連させつつ工芸品に関心と呼び起こすため、産地には児童・生徒の教育事業で現代生活での使用例を示すよう促した。

「ふるさと体験・交流事業」では、工芸品の製作体験が催事のイベントに終始することなく、産地後継者発掘の手段である趣旨に沿うよう産地の求人実情を正確に伝えるよう促した。

また、新規もしくは雇用間もない従事者を指導する産地組合に対し、指導に要する経費を補助する「新規従事者指導支援事業」を実施し、円滑な技術・技法の推進、産地後継者の確保・育成を支援した。

1) 伝統工芸士認定等事業

経済産業大臣指定伝統的工芸品等の製造に関する伝統的な技術・技法に熟練した従事者の認定を行い、その知識・技術・技法の向上を図り、もって伝統的工芸品産業の振興に寄与することを目的として、従事年数12年以上の技術者を対象に試験を実施し、合格者の認定登録を行った。また、受験資格の12年に、研修期間を算入できる公的技術習得施設を追加し、若手でも優秀な従事者に伝統工芸士受験の機会を与えた。

① 伝統工芸士審査委員会委員（順不同・敬称略）

委員長	宮崎 清	一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会評議員
副委員長	増村 紀一郎	漆芸家、東京芸術大学名誉教授、重要無形文化財「髹漆」保持者
委員	池田 佳隆	一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会副代表理事 京友禅協同組合連合会理事長
	栗田 豊滋	経済産業省製造産業局伝統的工芸品産業室長
	梶原 壽治	伝統工芸高岡銅器振興協同組合理事長
	田中 雅一	京都府仏具協同組合理事長
	林 克美	日本伝統工芸士会副会長、江戸切子伝統工芸士会会長
	原田 元	佐賀県陶磁器工業協同組合代表理事

（順不同・敬称略）

② 認定試験の実施等

実施産地数・受験者数	46工芸品45産地	156名
合格者数	45工芸品44産地	130名
登録者数	45工芸品44産地	130名（平成30年2月25日付）
認定者数累計		7,813名

③ 伝統工芸士審査委員会の開催

第1回審査委員会	29. 9. 6（水）	於：協会
第2回審査委員会	29. 12. 5（火）	於：協会

④ 実技試験視察

実技試験の実施状況について、審査委員、伝産協会役職員が視察を行った。

- ・四日市萬古焼 29. 9. 25 (月)
- ・秩父銘仙 29. 9. 27 (水)
- ・京焼・清水焼 29. 10. 4 (水)
- ・輪島塗 29. 10. 5 (木) ~ 10. 6 (金)
- ・甲州印伝 29. 10. 25 (水)

2) 伝統工芸士研修会

伝統工芸士名簿に登録後、5年毎に受講し、伝統工芸士の技術及び知識水準の維持・向上を図る目的で実施。平成9, 14, 19, 24年度に認定登録された伝統工芸士と前年度に産地事情や病気等で研修会を受講できなかった伝統工芸士が対象。また、平成27年12月の「伝統工芸士認定事業実施要領」を一部改正後の平成28年度に研修会を受講していない伝統工芸士については、特別研修会を実施した。

① 研修会

実施期間 29. 8. 8 (火) ~ 11. 28 (火)
 実施産地 89産地
 受講者数 607名

② 特別研修

実施期間 29. 4. 17 (月) ~ 4. 27 (木) ※伝産協会事業説明会と同時開催
 受講者数 14産地 27名

3) 伝統工芸士叙勲の推薦

伝統工芸士の長年の産地振興の功績に対する叙勲(Ⅱ類)について、当協会の推薦により次の伝統工芸士が受章した。

受章者数 28名(累計1,112名 男性:1,027名 女性:85名)

<29. 5. 11> 12名 瑞宝単光章

飯田道和(京表具)	清水俊彦(丹波立杭焼)
石黒昭雄(東京銀器)	鈴木勉(京友禅)
梅原昭二(常滑焼)	布辰巳(七尾仏壇)
川上信次(長岡仏壇)	益永榮喜(博多人形)
河野宏(甲州水晶貴石細工)	山崎貞一(京仏具)
小林敏宏(三河仏壇)	宮部祐治(西陣織)

<29. 11. 10> 16名 瑞宝単光章

安藤博(京黒紋付染)	恒岡光興(伊賀焼)
飯田勝弘(名古屋黒紋付染)	中村光雄(京黒紋付染)
老山輝江(本場大島紬)	西田廣次(西陣織)
岡田政信(越前打刃物)	西田二郎(伊勢形紙)
織田鐵吾(牛首紬)	福士豊二(東京銀器)
小島源五(京友禅)	蒔苗太(津軽塗)
巢山榮三(木曾漆器)	八木忠彦(京表具)
竹平勝雄(京鹿の子絞)	山口隆(山形仏壇)

4) 功労者表彰等事業

伝統的工芸品産業の振興において、伝統的工芸品の製造者や製造以外で産地等地域の活性化に特に功績のあった方や若手従事者等を顕彰することにより、伝統的工芸品産地の活性化に資することを目的とし、受賞者に表彰状及び記念品を贈呈した。

① 伝統的工芸品産業大賞選考委員会委員

委員長 岩清水 晃 一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会業務執行理事

委員	栗田豊	滋博	岩手県南部鉄器協同組合連合会会長
	桑原博	博	経済産業省製造産業局伝統的工芸品産業室長
	佐々木辰二	二	塩沢織物工業協同組合理事長
	佐藤慶太	太	美濃焼伝統工芸品協同組合理事長
	丸山博志	志	秋田県漆器工業協同組合理事長
	溝川美治	治	全国中小企業団体中央会地域振興部長
			大阪泉州桐箆筒製造協同組合理事長

(順不同・敬称略)

- ② 選考委員会の開催 29.10.6 (金) 於：協会
- ③ 受賞者 40名
- a. グランプリ 1名
博多人形 西頭哲邸
- b. 作り手部門功労賞 20名
- | | | | |
|----------|-------|---------|-------|
| 旭川木彫 | 上西捷敏 | 金沢箔 | 畠中亨 |
| 大谷焼 | 齋藤勝彦 | 常滑焼 | 清水源三 |
| 結城紬(栃木県) | 須藤英 | 和釘 | 久住勇 |
| 江戸べっ甲 | 磯貝剛 | 彦根仏壇 | 山本輝夫 |
| 岡崎石工品 | 加藤信吾 | 京指物 | 矢野磨砂樹 |
| 首里織 | 山城有希子 | 京仏具 | 今井信子 |
| 会津塗 | 古川勝規 | 大阪泉州桐箆筒 | 山本幸夫 |
| 芦野石細工 | 櫛田豊 | 和樽 | 田中啓一 |
| 岩槻人形 | 大豆生田博 | 菊間瓦 | 渡部一馬 |
| 江戸木目込人形 | 金林健史 | 指物 | 土屋太一 |
- c. 業界活性化部門功労賞 15名
- | | | | |
|---------|-------|--------|-------|
| 宮城伝統こけし | 永山美智子 | 甲州手彫印章 | 佐野武彦 |
| 京友禅 | 関野正美 | 高岡銅器 | 山口敏雄 |
| 京扇子 | 伊藤友隆 | 名古屋仏壇 | 稲葉洋一勝 |
| 玉虫塗 | 小野清詞 | 西陣織 | 鳥原善博 |
| 東京無地染 | 近藤良治 | 京仏壇 | 作島寛 |
| 江戸節句人形 | 片岡恭一 | 京人形 | 田中義高 |
| 江戸切子 | 吉澤司一 | 熊野筆 | 竹森臣 |
| 木曾漆器 | 宮原正 | | |
- d. 若手奨励部門奨励賞 4名
- | | | | |
|--------|------|---------|-------|
| 江戸節句人形 | 加藤一成 | 京仏壇/京仏具 | 岩田宏隆 |
| 西陣織 | 石田純平 | 江戸表具 | 美濃部克幸 |
- ④ 表彰 29.11.2 (木) ホテルメトロポリタン
第34回伝統的工芸品月間国民会議全国大会記念式典において

5) 児童・生徒に対する伝統的工芸品教育等事業

伝統工芸士等の職人が、小学生・中学生に対して、伝統的工芸品の生活の中での使われ方や特性、技術・技法、原材料に関する講習や、工芸品の製作体験を実施することにより、児童・生徒の伝統的工芸品に関する興味や関心を高めることを目指した。

実施産地組合数	108産地組合	(前年度	109産地組合)
実施学校数	692校	(前年度	705校 いずれも延べ申請件数)
受講者数	35,248名	(前年度	35,048名)
延べ実施日数	715日	(前年度	732日)

6) 伝統的工芸ふるさと体験・交流等事業

伝統的工芸品の製作実演及び製作体験指導を通じ、学生・社会人等が、伝統工芸士等の持つ技に直接触れる機会を増やし、伝統的工芸品に対する理解や愛着を深め、その産業を支える環境や従事者に対して関心を持ち、産地就労の契機とするために実施した。

「伝統的工芸品体験フェア」

実施団体数	49件	(前年度 52件)
実施件数	116件	(前年度152件)
参加者数	8,623名	(前年度11,579名 いずれも体験参加者のみ、来場者は含まない)
就労実績	2産地	4名

7) 新規従事者指導支援事業

新規もしくは雇用間もない従事者を指導する産地組合のうち指定された技術保持者が少数、高齢であるなど、継承に緊急度が高い産地に対し、指導に要する経費を支援し、併せて新規従事者等を対象に第一線で活躍中の伝統工芸士他による講習会を実施し、習得意欲の向上を図り、円滑な技術・技法の推進、産地後継者の確保・育成を促した。

① 新規従事者指導支援事業審査委員会委員 (順不同・敬称略)

(第1回委員会)

委員長 山口 雅 功 山中漆器連合協同組合理事長

(第2回委員会)

委員長 岩清水 晃 岩手県南部鉄器協同組合連合会会長
委員 河口 純 一 佐賀県立有田窯業大学校元非常勤講師
北岡 省 三 香川県漆芸研究所講師
栗田 豊 滋 経済産業省製造産業局伝統的工芸品産業室長

② 申請、実施産地数

申請 16産地27工程

実施 11産地14工程

名古屋友禅、京小紋、京鹿の子絞、九谷焼、波佐見焼、壺屋焼、尾張仏具
彦根仏壇、川辺仏壇、岩槻人形、江戸べっ甲

③ 審査委員会の開催

第1回審査委員会 29. 6. 29 (木) 於：協会

第2回審査委員会 30. 3. 8 (木) 於：協会

④ 講習会の開催

講師 山本 篤 九谷焼伝統工芸士会会長、日本伝統工芸士会幹事
赤瀬 浩 成 メイド・イン・ジャパン・プロジェクト代表取締役

受講者 本事業による指導を受けている新規従事者 18名

⑤ 進捗状況の確認

産地内の同工程の製造技術者、同業種他産地の製造技術者、伝産協会職員が、指導状況の確認のため各事業所を訪問した

a. 実施時期 30. 1. 31～ 2. 28

b. 確認者 産地内製造従事者 13名

同業種他産地製造従事者 5名

2. 産地指導事業

産地の伝産表示対策適正化指導。

産地の実勢（生産額、従事者、原材料等不足状況等の実態）を調査。

地方自治体の伝産関連事業者支援予算調査。

海外展開支援として、見本市等に出展後の商談・取引に対応するための出展者の事前準備や値決め、取引量、現地の法的な制約による商品選び、商慣習の実情等を出展事業者に助言するセミナーを行った。

1) 指定産地振興指導等事業

① 検査体制の整備促進事業

伝統的工芸品表示の適正化及び実施促進を図るため、下記の38産地に対し検査指導員を派遣し現地指導を行った。今後は適正に実施している産地名を公表して、表示事業への再認識を促す。

平成29年度産地組合検査指導実施産地

1	小田原漆器	H29.4.27	20	博多人形	H29.9.28
2	箱根寄木細工	H29.4.27	21	博多織	H29.9.28
3	越後与板打刃物	H29.5.10	22	岩谷堂箆笥	H29.10.24
4	三条仏壇	H29.5.11	23	宮城伝統こけし(弥治郎)	H29.10.25
5	内山紙	H29.5.24	24	江戸切子	H29.11.21
6	七尾仏壇	H29.5.25	25	江戸指物	H29.11.22
7	金沢仏壇	H29.5.26	26	南部鉄器(盛岡)	H29.11.28
8	加賀繻	H29.5.26	27	南部鉄器(水沢)	H29.11.29
9	土佐打刃物	H29.6.13	28	松本家具	H29.12.20
10	土佐和紙	H29.6.14	29	甲州水晶貴石細工	H29.12.21
11	小石原焼	H29.6.28	30	甲州手彫印章	H29.12.22
12	別府竹細工	H29.6.29	31	甲州印伝	H29.12.22
13	岡崎石工品	H29.7.25	32	駿河竹千筋細工	H30.1.30
14	美濃焼	H29.7.26	33	豊橋筆	H29.1.30
15	四日市萬古焼	H29.7.27	34	三河仏壇	H30.1.31
16	京石工芸品	H29.8.7	35	京くみひも	H30.2.14
17	奈良筆	H29.8.8	36	京焼・清水焼	H30.2.15
18	益子焼	H29.8.31	37	大阪唐木指物	H30.3.6
19	肥後象がん	H29.9.27	38	大阪浪華錫器	H30.3.7

② 産地振興の指導

指定産地組合等が策定する振興計画、共同振興計画、ならびに伝産表示規程に関する指導助言等を行ったほか、国との連携により、活性化事業、連携活性化事業及び支援事業の実施に資する情報提供を行った。

③ 海外展開支援コンサルティング

海外への販路拡大を視野に入れる伝統的工芸品産地事業者が実際に国際ビジネスの舞台に参入し、将来的に独自展開できるようになるための準備や必要知識等を、ステップを踏んで習得するための支援を、セミナーや個別相談等を通して行った。

海外ビジネス展開セミナー

第1回 29. 6. 12 (月) 於：協会 参加者数 30名

	29. 6. 19 (月)	於：近畿経済産業局	参加者数	8名
第2回	29. 8. 24 (木)	於：近畿経済産業局	参加者数	14名
	29. 8. 28 (月)	於：協会	参加者数	19名
第3回	29. 10. 5 (木)	於：近畿経済産業局	参加者数	10名
	29. 10. 12 (木)	於：協会	参加者数	17名
第4回	29. 11. 13 (月)	於：協会	参加者数	15名
	29. 11. 17 (金)	於：近畿経済産業局	参加者数	20名
第5回	29. 12. 6 (水)	於：協会	参加者数	14名
	29. 12. 11 (月)	於：近畿経済産業局	参加者数	7名
個別相談会	上記セミナーの前後期間にて実施		参加者数	59名 (延べ人数)

専門家との協力によりセミナーや個別相談会を行い、グローバルビジネスに必要な知識や、事業者にあった戦略等についてアドバイスを行った。国際見本市やパリ常設店出展に向けた準備、商談のアドバイスに至るまでの一連のフォローも実施。高品質な商品に相応しいビジネス対応のノウハウを学ばせるべく知識を提供し、海外初挑戦の事業者も、より十分な準備を整えて現地での商談に臨むことが可能となった。

<主な内容>

- ・グローバルビジネス参入の手引き (海外市場と日本の伝統工芸品、海外展開の挑戦)
- ・海外展開と自社経営環境の検証 (経営戦略、原価計算、PR ツール準備)
- ・グローバルビジネスの価格設定と国際基準 (価格設定、取引条件)
- ・海外ビジネス向けの商品選択 (商品の選択ポイント、商品価値の表現方法)
- ・海外輸出実務のイロハ (海外での商談、輸出実務)
- ・伝統的工芸品の海外進出の実態 (ゲストスピーカーとの対談)

2) 伝統的工芸品産地調査・診断等事業

① 産地実勢調査

伝統的工芸品産業の実勢の把握を目的として、産地における生産額、企業数及び従事者数に関する「実勢調査」を実施した。

② 自治体伝統的工芸品産業支援関連予算調査

都道府県、協会会員政令指定都市、市町村並びに指定告示において「主な製造地域」となっている自治体に対し、伝統的工芸品産業従事者が活用できる予算についての調査を行い、当協会事業の参考とすると共に、自治体との連携推進の一助とした。

3. 普及推進事業

普及広報では、伝統的工芸品に親和性の高い読者層を持つ媒体を中心に実施し多くの人が伝統工芸に触れ、興味を持ち、積極的に自分の生活の中に取り入れ、普段の生活を豊かにする提案をおこなった。

伝統的工芸品の技の一端を視覚的に紹介するイメージ映像を作成し、ホームページ及び YouTube 等で公開したほか、Web 広告や車内動画広告など効果的な新メディアを積極的に活用した。

また、媒体関係者との関係強化に努め取材依頼等に対応するとともに無料掲載 (編集協力) の拡大を行った。

1) 伝統的工芸品普及等事業

伝統的工芸品に対する消費者・流通関係者の理解の増進に努めるとともに、伝統工芸青山スクエア紹介並びに各種展示会の告知を通じて、伝統マーク及び伝統的工芸品のPRを図った。

① 新聞・雑誌等

・「四季の味」 4・7・10・1月 ・「家庭画報」 7～12月 ・「日経 REVIVE」 8月

・「&Premium」	10・3月	・「GOETHE」	2月	・「ザ・リョカンコレクション」	12月
・「SWITCH」	10月	・「きょうの料理」	1月	・「きょうの料理ビギナーズ」	1月
・「俳句」	1月	・「ELLE DECO」	5月	・「JAPANand the WORLD」	3月
・「エルデコ デザインウォーク」	10月	・「iNTOUCH」	3月	・「公益法人」	1月
・「Discover Japan」	8月	・「Hanako」	10月	・「一個人」	10月
・「an an」	10月	・「ONKUL」	2月	・「毎日小学生新聞」	5月
・「クロワッサン」	10・3月	・「キスポーツ」	9月	・「おとなの週末」	10月

② ダイレクトメールの発行

規格 大型ハガキ版 表裏4色カラー 発行回数4回

③ 映像制作

・伝統的工芸品イメージ映像（9産地）

十日町明石ちぢみ、伊賀くみひも、常滑焼、小石原焼、高岡漆器、加茂桐箆笥、
駿河竹千筋細工、江戸木目込人形、江戸木版画

・映像公開 42産地（協会ホームページ YouTube チャンネル）

PV数563, 672回（国内115, 811回 海外447, 861回）

・中国動画サイト（テンセントビデオ）中国語動画（考工記）制作配信（再生回数1,000万回）

第一話 加賀友禅、南部鉄器、仙台箆笥、彦根仏壇

第二話 近江上布、九谷焼、津軽塗、尾張七宝

④ オンライン広告

・伝統的工芸品及び伝統工芸青山スクエアのPRを目的に、「Google」社による/GoogleAdwords
広告を実施した。

実施期間 平成29年10月～平成29年12月（バナー表示回数20,000,000回、
クリック数126,666回）

⑤ 鉄道広告 看板・ポスター

・鉄道動画広告

Tokyo Metro Vision（東京メトロ全線） 1回 29.12.18～29.12.24

山手線新型車両「サイドチャンネル」 1回 30.1.15～30.1.21

・看板

都営地下鉄青山一丁目駅出口 1箇所 29.4.1～30.3.31

東京メトロ青山一丁目駅構内 1箇所 29.4.1～30.3.31

東京メトロ改札口看板（ナビタ） 5箇所 29.4.1～30.3.31

・ポスター掲示

赤坂郵便局 29.4.4～30.3.31

・メトロナビマップ配布

東京メトロ青山一丁目駅構内 29.4.1～30.3.31

⑥ メールニュース配信

・青山スクエア会員及び国内メディア関係者を対象とした（DENSAN MAILNEWS）を配信
した（月1回、計12回）

⑦ 無料広告

<紙媒体>

・「Discover Japan」 6・9・12月 ・「陶業時報」 6・9・11・1月 ・「nice things」 11月

・「クロワッサン」 3月 ・「Casa BRUTUS Daily」10月 ・「信濃新聞」 12月

・「北國新聞」 12月21・22日 ・「&Premium」 4・5月 ・「美しいキモノ」 8月

・「ミセス」 8月 ・「日本の祭」 10月 ・りぶる 7月

・「一個人」 10月 ・「Hanako」 10月 ・月間経団連 5月

・CRESC 8・1月 ・WAttention Tokyo 9月 ・関西ハンドブック 9月

・教育旅行研究誌かわら版 7月 ・新しい道徳 10月 ・四季折々 青山赤坂 4月

・「家庭画報」(伝統工芸の美、再発見シリーズ)29. 4～30. 3発売 計12回

<電波媒体>

・NHK BS「クールジャパン 世界が驚いたニッポン」	30. 1. 1放送
・毎日放送「サタデープラス 美・ジャパン」	29. 6. 3放送
・TBS テレビ「和心百景」 第25回 ～第27回 伊万里・有田焼	29. 3. 25～29. 4. 8放送
・TBS テレビ「和心百景」 第28回 ～第30回 京くみひも	29. 4. 15～29. 4. 29放送
・TBS テレビ「和心百景」 第31回 ～第33回 箱根寄木細工	29. 5. 6～29. 5. 20放送
・TBS テレビ「和心百景」 第34回 ～第36回 壺屋焼	29. 5. 27～29. 6. 10放送
・TBS テレビ「和心百景」 第37回 ～第39回 江戸切子	29. 6. 17～29. 7. 1 放送
・TBS テレビ「和心百景」 第40回 ～第42回 房州うちわ	29. 7. 8～29. 7. 22 放送
・TBS テレビ「和心百景」 第43回 ～第45回 琉球びんがた	29. 7. 29～29. 8. 19 放送
・TBS テレビ「和心百景」 第46回 ～第48回 鎌倉彫	29. 8. 26～29. 9. 30放送
・TBS テレビ「和心百景」 第49回 ～第51回 熊野筆	29. 10. 7～29. 10. 21放送
・TBS テレビ「和心百景」 第52回 ～第54回 甲州印伝	29. 10. 28～29. 11. 1放送
・TBS テレビ「和心百景」 第55回 ～第57回 天童将棋駒	29. 11. 18～29. 12. 2放送
・TBS テレビ「和心百景」 第58回 ～第60回 名古屋黒紋付染	29. 12. 18～29. 12. 23放送
・TBS テレビ「和心百景」 第61回 ～第63回 燕鋤起銅器	30. 1. 6 ～30. 1. 20放送
・TBS テレビ「和心百景」 第64回 ～第66回 京焼・清水焼	30. 1. 27 ～30. 2. 10放送
・TBS テレビ「和心百景」 第67回 ～第69回 樺細工	30. 2. 17 ～30. 3. 3放送
・TBS テレビ「和心百景」 第70回 ～第72回 江戸からかみ	30. 3. 10 ～30. 3. 24放送

⑧ 訪日外国人誘致事業

年々増加する訪日外国人に対する工芸品産地への誘致対策として、外国人フォトジャーナリストを活用し、外国人視点での産地訪問記をインターネット配信。産地組合に対しては産地が有する各種説明資料やホームページ等の外国語翻訳支援を行った。通訳案内士の団体と連携し団体客の産地訪問時に通訳を派遣する事業も支援メニューとした。

また、昨年度に引き続き、旅行事業者による土曜、日曜の都内観光ルートに青山スクエアを組み込み、実施した。

外国人取材産地	結城紬（茨城県）
パンフレットの翻訳	豊岡杞柳細工
ホームページの翻訳	秩父銘仙
看板の翻訳	丹波立杭焼
都内観光ルート	1回

2) 伝統的工芸品の表示の推進

伝統証紙を発行するとともに、産地組合の伝統マーク利用の促進に努めた。

① 伝統証紙事業

a. 発行枚数 合計 2 5 7, 4 5 0 枚 (前年度 1 9 5, 0 0 0 枚)

発行先内訳

染織品	6 0, 4 5 0 枚	陶磁器	6, 0 0 0 枚
漆器	1 5, 0 0 0 枚	木・竹工品	5 1, 0 0 0 枚
金工品	2 1, 0 0 0 枚	仏壇・仏具	5, 0 0 0 枚
和紙・文具	5 0, 0 0 0 枚	石・人形・諸工芸	4 9, 0 0 0 枚

b. 発行先数 3 3 産地組合

② 伝統マーク使用状況 総件数 319 件 (前年度 352 件)

a. パンフレット・ちらし・カタログ 計 62

地方公共団体 28件	産地組合等 21件	企業等 13件
------------	-----------	---------

- b. ダイレクトメール・はがき・封筒等 計16件
地方公共団体 4件 産地組合等 12件
- c. ポスター・パネル等 計28件
地方公共団体 9件 産地組合等 13件 企業等 6件
- d. 看板等 計11件
地方公共団体 3件 産地組合等 7件 企業等 1件
- e. 新聞広告 計9件
産地組合等 9件
- f. その他(名刺、HP、教材誌等) 計193件
地方公共団体 17件 産地組合等 147件 企業等 29件

3) 伝統工芸青山スクエア等事業

伝統的工芸品の普及及び需要開拓、産地事業者の市場ニーズ把握を目的とする伝統工芸青山スクエア等事業は、経済産業大臣指定伝統的工芸品の総合展示場として、季節展示の実施、天井灯の照明のLED化、書院造コーナーの新設を含めた展示場の改修を行い、展示効果を高めた。入場者は微増。官公庁や企業のギフト需要は増加しており、オンラインショップ販売は、増加した。伝統的工芸品など産地の製品を魅力的な商材と見る民間事業者の問い合わせも確実に増えている。

改善課題としては、安定的に増加している外国人来場者や減少傾向にある友の会会員への情報発信、来店促進案内の強化、商品の魅力及び産地・作者の情報を正しくタイムリーに伝えるための、売り場のレイアウトやゾーニング、品揃えや展示方法・提案方法などが挙げられる。

① 入場者数125,553名 月平均10,463名(前年度124,024名 月平均10,335名)

② 常設展示=126工芸品+3工芸材料・用具(前年度127工芸品+3工芸材料)

- 【織物】 14 結城紬、村山大島紬、多摩織、小千谷縮、小千谷紬、信州紬、牛首紬、西陣織、阿波正藍しじら織、博多織、久留米緋、本場大島紬、久米島紬、首里織
- 【染色品】 5 東京手描友禅、有松・鳴海絞、京鹿の子絞、京友禅、京小紋
- 【その他繊維】 2 伊賀くみひも、京くみひも
- 【陶磁器】 25 大堀相馬焼、会津本郷焼、笠間焼、益子焼、九谷焼、美濃焼、常滑焼、赤津焼、瀬戸染付焼、四日市萬古焼、伊賀焼、京焼・清水焼、丹波立杭焼、出石焼、備前焼、萩焼、砥部焼、小石原焼、上野焼、伊万里・有田焼、三川内焼、波佐見焼、小代焼、薩摩焼、壺屋焼
- 【漆器】 18 津軽塗、秀衡塗、浄法寺塗、川連漆器、会津塗、鎌倉彫、村上木彫堆朱、新潟漆器、木曾漆器、高岡漆器、輪島塗、山中漆器、飛騨春慶、越前漆器、若狭塗、紀州漆器、大内塗、香川漆器
- 【木工品】 13 岩谷堂箆笥、樺細工、大館曲げわっぱ、江戸指物、箱根寄木細工、加茂桐箆笥、南木曾ろくろ細工、井波彫刻、京指物、大阪唐木指物、豊岡杞柳細工、紀州箆笥、宮島細工
- 【竹工品】 5 駿河竹千筋細工、高山茶釜、別府竹細工、紀州へら竿、都城大弓
- 【金工品】 9 南部鉄器、東京銀器、燕鋸起銅器、高岡銅器、越前打刃物、堺打刃物、大阪浪華錫器、播州三木打刃物、肥後象がん
- 【仏壇・仏具】 4 彦根仏壇、川辺仏壇、飯山仏壇、京仏壇(交替出品)
- 【和紙】 7 越中和紙、美濃和紙、越前和紙、因州和紙、石州和紙、阿波和紙、土佐和紙
- 【文具】 8 豊橋筆、奈良筆、熊野筆、川尻筆、雄勝硯、赤間硯、鈴鹿墨、播州そろばん
- 【石工品】 2 甲州水晶貴石細工、京石工芸品
- 【人形】 5 宮城伝統こけし、江戸木目込人形、岩槻人形、江戸節句人形、博多人形
- 【諸工芸品】 9 天童将棋駒、江戸からかみ、江戸切子、江戸硝子、江戸木版画、甲州印伝、尾張七宝、京扇子、京うちわ
- 【材料・用具】 3 庄川挽物木地、金沢箔、伊勢形紙

③ 特別展示

a. 特別展の開催

特別展29回（※「公募展」を除く）、匠コーナー39回を開催し、延べ274工芸品（前年度244工芸品（※「公募展」を除く）の指定工芸品等を展覧に供し、作り手と使い手との親密な交流に努めた。

b. 消費者参加企画

特別展開催に併せて、トークショー、製作実演及び体験教室を実施するなど、伝統的工芸品の理解促進に努めた。

④ その他事業

a. ぬりもの・やきものクリニック

柴田康時氏（輪島塗）の協力により、漆器・陶磁器の無料相談（修理希望者には実費修理）を実施した。（11回）

b. リボーン漆器

輪島塗の柴田康時氏、引持力雄氏の協力により、使われなくなった漆器を塗り直した製品を販売することにより、修理をすることで長い間使い続けることができることをアピールした。

c. 友の会の運営

会員数6,301名（30.3.31現在）（前年度5,548名）

d. 外部展示協力

・伝統的工芸品展 in AEON MALL

イオン1%クラブに協力いただき「日本の伝統文化・伝統」を継承していくことを目的として開催。工芸品の持つ“日用品”としての用途と、現代人の抱く工芸品に対するイメージが乖離してきているため、一般消費者に工芸品をもっと身近に感じて頂くため「展示」のほか、「使う」「楽しむ」「買う」イベントを開催。

【開催日程】

・第1会場

会場名 イオンレイクタウン Kaze1F 時の広場

会期 30. 1. 13（土）・ 1. 14（日）

出展工芸品 東京染小紋、九谷焼、津軽塗、木曾漆器、秋田杉桶樽、越前打刃物、越中和紙、豊橋筆

・第2会場

会場名 AEON MALL 常滑ノースコート、ハーバーコート

会期 30. 1. 20（土）・ 1. 21（日）

出展工芸品 近江上布、京友禅・京小紋、美濃焼、伊賀焼、上野焼、高岡銅器、播州そろばん、宮城伝統こけし

4) 伝統的工芸品月間推進等事業

経済産業省の省議決定で創設された「伝統的工芸品月間」を中心に、伝統的工芸品の国民生活への浸透を推進するため、官民一体となって以下の事業を実施した。

① 「第34回伝統的工芸品月間国民会議全国大会」の開催

共催 経済産業省、伝統的工芸品月間推進会議、東京都伝統的工芸品月間推進協議会

日時 29. 11. 2（木） 13：30～14：50

会場 ホテルメトロポリタン 3階富士、4階カシオペア・桜（東京都豊島区）

祝電 内閣総理大臣ほか 8通

参加人数 約750名（前年度900名）

式次第 主催者挨拶 経済産業省製造産業局長 多田 明 弘
東京都知事 小池 百合子

来賓挨拶 自由民主党伝統的工芸品産業振興議員連盟会長 伊吹 文明
衆議院議員

	参議院議員	増子輝彦
表彰	経済産業大臣表彰(功労賞38名、奨励賞4名)、中部経済産業局長表彰(12名)、 伝統的工芸品産業大賞(40名)	
受賞者代表挨拶	村山大島紬伝統工芸士	田代章雄
祝電披露		
大会宣言	伝統的工芸品月間推進会議委員・ 一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会代表理事	
次期開催地挨拶	福岡県知事	安藤重良 小川洋

② 「2017 伝統工芸ふれあい広場・TOKYO」の開催

伝統的工芸品の普及及び啓蒙促進を目的として開催するとともに流通関係者及び報道関係者に対しての周知を図った。

後援 経済産業省/ 東京都伝統的工芸品月間推進協議会/ 青森県/ 宮城県/ 秋田県/ 山形県/ 福島県/ 茨城県/ 栃木県/ 群馬県/ 埼玉県/ 千葉県/ 東京都/ 新潟県/ 富山県/ 石川県/ 福井県/ 山梨県/ 長野県/ 岐阜県/ 静岡県/ 滋賀県/ 京都府/ 兵庫県/ 奈良県/ 和歌山県/ 広島県/ 山口県/ 福岡県/ 佐賀県/ 長崎県/ 熊本県/ 大分県/ 宮崎県/ 鹿児島県/ 京都市/ 独立行政法人 中小企業基盤整備機構

会期 29. 11. 4 (土) ~ 6日 (月)

会場 東京国際フォーラムホールB5・B7

入場者 延べ257, 256名(前年度70, 000名)(東京国際フォーラム、JPタワー・KITTE、丸ビル、東京ビルTOKIA含)

開会式 主催者挨拶

東京都知事

小池百合子

一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会代表理事

安藤重良

来賓代表挨拶

自由民主党伝統的工芸品産業振興議員連盟幹事長

衆議院議員

松島みどり

催事内容

a. 製作実演 7工芸品

【織物】 西陣織

【染色品】 京友禅

【陶磁器】 九谷焼

【陶磁器】 伊万里・有田焼

【漆器】 会津塗

【木工品】 井波彫刻

【諸工芸】 播州毛鉤

b. 製作体験 7工芸品

【織物】 信州紬

【陶磁器】 波佐見焼

【木工品】 大館曲げわっぱ

【和紙】 越前和紙

【文具】 熊野筆

【貴石】 甲州水晶貴石細工

【人形】 博多人形

c. 特別展示

「繭から生糸まで」(展示・糸取り実演)

一般財団法人大日本蚕糸会

「漆ができるまで」(展示)

一般社団法人日本漆工協会

「テーブルコーディネート展」

食空間コーディネート協会

「タツノコプロ×伝統的工芸品コラボコーナー」

d. 全国紹介コーナー (会場※1: JPタワー・KITTE 地下1階 東京シティアイ) 33都府県

e. 全国伝統的工芸品逸品展 (会場※2: 丸ビル 1階 マルキューブ)

f. 小石原焼復興支援コーナー (B7階)

g. 伝統工芸ステージ

- 11/4 日本伝統工芸士会 田畑喜八会長×小川規三郎副会長によるきものトークショー
草月流いけばなデモンストレーション「花のある暮らし」/漆で繕う金継入門/播州そろばん面白ショー
- 11/5 都城大弓ショー/実演販売士パフォーマンス/折り紙パフォーマンス/あなたも今日からテーブルコーディネート 「伝統の器を使ってすてきに暮らす」/伝統工芸小話(落語芸術協会)
- 11/6 ニッポン放送「土屋礼央レオなるど」公開生放送 パーソナリティ:土屋礼央
スタジオアナウンサー:増山さやかゲスト:岩崎夏海(放送作家)、林家木久扇師匠、山川豊

③ 「2017 全国伝統的工芸品展・TOKYO」の開催

一般来場者に加え幅広く流通関係者への周知を行い開催後の商機の継続を図った。

後 援 経済産業省/東京都伝統的工芸品月間推進協議会/独立行政法人中小企業基盤整備機構

会 期 29. 11. 4 (土) ~ 11. 6 (月)

会 場 東京国際フォーラムホールB7

小 間 数 92小間(前年度48小間)

出展工芸品 56品目(前年度36品目)

入場者数 延べ257,256名(前年度70,000名)(東京国際フォーラム、JPタワーKITTE、丸ビル、東京ビルTOKIA含)

④ 「第20回日本伝統工芸士会作品展」の開催

伝統工芸士が日頃より研鑽を重ねている技術・技法により制作した作品を展示紹介するとともに、コンクールを実施して各賞を授与した。

共 催 日本伝統工芸士会

後 援 経済産業省、東京都、特別区長会、八王子市、武蔵村山市、八丈町、独立行政法人中小企業基盤整備機構

会 期 29. 11. 4 (土) ~ 11. 6 (月)

会 場 東京国際フォーラムB7

出 品 数 190点

授 賞 数 衆議院議長賞1点、経済産業大臣賞1点、関東経済産業局長賞1点、東京都知事賞1点、特別区長会会長賞1点、特別区長会副会長賞2点、八王子市長賞1点、武蔵村山市長賞1点、八丈町長賞1点、日本伝統工芸士会会長賞1点、一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会賞1点、奨励賞4点

※その他、東武百貨店審査委員の選定による東武百貨店賞1点、東武百貨店青年奨励賞1点、東武百貨店テーマ賞1点を選定した。

⑤ 「伝統的工芸品展 WAZA 2018」の開催

経済産業大臣指定伝統的工芸品をはじめ、全国の工芸品を一堂に集めた国内最大級の工芸品展を首都圏で開催し、日本の伝統技術の基盤といえる手作り技術の継承、向上について国民の理解と支援を喚起し、暮らしに工芸品を普及浸透させるために需要の拡大を図り、我が国のもの作り産業の振興と工芸品産業を有する地域経済の発展に資することを目的として開催した。

開催にあたり出展者向けの事前説明会を行い、消費者へ訴求のための媒体掲載商品・商品展開、伝統的工芸品への関心を高めるイベント企画及び接客についての事前準備を行った結果、売上高は前年比110%を達成した。

会 期 30. 2. 16(金)~2. 21(水) 6日間

会 場 東武百貨店池袋店 8階催事場

後 援 経済産業省/中小企業庁/岩手県/宮城県/秋田県/山形県/福島県/埼玉県/東京都/神奈川県/山梨県/静岡県/富山県/石川県/愛知県/福井県/滋賀県/京都府/奈良県/和歌山県/島根県/広島県/山口県/徳島県/福岡県/長崎県/鹿児島県/秋田市/さいたま市/静岡市/名古屋市/京都市/福岡市/日本商工会議所/全国商工会連合会/全国中小企業団体中央

会/公益財団法人 日本デザイン振興会/一般財団法人 生活用品振興センター/一般財団法人 地域活性化センター/独立行政法人中小企業基盤整備機構

催事内容 経済産業大臣指定伝統的工芸品 86品目、ふるさと工芸品 11都府県出品
製作実演 18品目（経済産業大臣指定伝統的工芸品15品目 ※ふるさと工芸品（都府県）3品目）

- 【織物】 本場大島紬/ ※掛川手織葛布
- 【陶磁器】 九谷焼/ 石見焼
- 【漆器】 高岡漆器（2/18体験）
- 【木工品】 岩谷堂箆笥/ 樺細工（2/20体験）/ 箱根寄木細工/ ※駿河指物
- 【竹工品】 高山茶釜
- 【仏壇/仏具】 京仏壇/京仏具（◆箔押し工程の為、1品目とした）
- 【文具】 赤間硯（2/16体験）
- 【人形】 宮城伝統こけし（2/19体験）/ 江戸節句人形/ 博多人形
- 【諸工芸】 甲州手彫印章（2/17体験）/ 長崎べっ甲（2/21体験）/ ※京七宝

入場者数 146,020名（昨年度134,008名）
新聞・雑誌 読売新聞2月16日朝刊全5段、新聞各紙折込70万部
Hanako2月号、クロワッサン2月1週号、&Premium2月号、FUDGE2月号、nice things2月号
交通広告 成田空港B1ポスター・羽田空港デジタルサイネージ 2月12日～20日
西武池袋線中吊2月15日～19日、東京メトロ池袋駅鏡2月15日～20日
その他 制作体験、都府県紹介パンフコーナー、トークイベント

2/16	伊藤まさこ(スタイリスト)	×	本場大島紬/小石原焼
2/17	山田五郎(評論家)	×	大堀相馬焼 / 九谷焼
2/18	飯島奈美(フードスタイリスト)	×	秀衡塗/浄法寺塗/川連漆器
2/19	沼田元氣(こけし・マトリョーシカ研究家)	×	宮城伝統こけし
2/20	矢部澄翔(書道家)	×	阿波和紙/豊橋筆/赤間硯
2/21	森田空美(着物研究家)	×	博多織/東京手描友禅

WAZA2018における出品工芸品の業種別内訳

	出品数(前回)	指定品目数		出品数(前回)	指定品目数
織物	11(11)	38	仏壇・仏具	5(6)	17
染織品	4(4)	12	和紙・文具	7(6)	18
他繊維	0(0)	4	貴石・石工品	2(1)	6
陶磁器	10(12)	32	人形	5(5)	8
漆器	10(11)	23	諸工芸	13(11)	21
木竹品	14(14)	32	材料・用具	1(1)	3
金工品	4(4)	16	合計	86(86)	230

⑥ JAPAN TRADITIONAL CRAFTS WEEK 2017 (JTCW2017) の開催

伝統的工芸品に対する国内外の消費者・流通関係者への理解の増進及び伝統的工芸品の生産者消費者の交流を目的として「JAPAN TRADITIONAL CRAFTS WEEK 2017(以下、JTCW 2017)」を開催した。

今年で4回目となったこのイベントは、首都圏の青山・六本木エリア、銀座・丸の内エリアの東京30店舗のインテリア・ファッション・専門店などのショップが参加。伝統的工芸品の展示販売、

実演やワークショップに加え、コラボレーション商品の発表、各店舗を巡るスタンプラリーを実施。新たに店舗や使い手参加型の新たな企画として、出展店舗と工芸品からメディア関係者が選ぶメディア賞、消費者が選ぶ JTCW 賞、使い手が工芸品を撮影しInstagramに投稿した画像から選ぶインスタ賞を設け、イベントの魅力促進を図った。

会 期	2 9 . 1 0 . 2 7 (金) ~ 1 1 . 8 (水)	
メイン会場	東京	伝統工芸 青山スクエア
サテライト会場	東京	東京国際フォーラム B5 (1 1 . 4 (土) ~ 1 1 . 6 (月))
受 賞 者	メディア賞	HIGASHIYA × 井波彫刻
	JTCW 賞	Floyd × 木曾漆器
	Instagram賞	0 1 2 8 n a o

参加店舗が直接産地に行き出来上がる工程を見て知ることは、伝統工芸のすばらしさを実感してもらうことができ、消費者に産地の現状や技をリアルに伝え、愛好者を増やしている。顧客と販売のノウハウを持つ専門店のプロとがタグを組むことは、互いの立場を理解・尊重することができ、製造者は本来の仕事に専念し、より良い工芸品を多く製造するには効率的である。参加店舗の16店舗は会期終了後も継続取引を行っている。

5) ITを活用した伝統的工芸品活性化等事業

ホームページにおいて経済産業大臣指定伝統的工芸品の総合的な情報発信を行ったほか、オンラインショップを開設し、全国の伝統的工芸品の一部をインターネット上に掲載した。

HP閲覧分析結果

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
セッション数(件)	60,152	65,750	68,825	65,769	67,192	60,561
ページビュー数(項)	197,999	210,091	219,249	210,412	220,642	191,190

10月	11月	12月	1月	2月	3月
110,236	104,213	111,971	91,331	87,694	76,346
350,381	317,505	339,831	289,087	259,943	226,569

ホームページ掲載工芸品数 230工芸品 オンラインショップ掲載点数 620点
ホームページは、情報発信機能を拡充し鮮度の高い情報発信を行うとともに、閲覧情報の解析を行い利用者の利便性を高める改善を進めた。また、伝統マークの周知や伝統工芸会館情報の拡充などを行った。

ホームページは産地の後継者不足、原材料・用具不足等の現状や、新商品開発・販売活動等も含めて、より具体的な情報を広く発信することができるツールである。伝統的工芸品産業に国民各層が関心を寄せ、他産業分野からの支援が広がり、ビジネスが生まれる機会に繋がることで、伝統的工芸品産業を支える動きの拡大や、原材料・用具・人材等に関する全産地間情報システム構築にも展望が持てることを理解頂くよう粘り強く努める。

7) 各種イベントへの後援等

産地組合、関係地方自治体からの申請に対し、後援等名義の使用を承認した(75件)。

4. 需要開拓事業

1) 伝統的工芸品公募展等事業

本展では、伝統的工芸品の作り手に作品を公募し、審査のうえ入選作品展を開催することで、日ごろ積み重ねている技術・技法を評価するとともに、現代生活で使われ続けるための需要を喚起する目的で開催した。

募集する作品は見て愛でるためのものではなく「日常生活で使用するもの」とし、日本の美意識を受け継ぎ、実用性と耐久性を兼ね備え、消費者意識をとらえるための工夫やアイデアが表現された作品を評価の対象とした。

また、新たに設置した「若手奨励賞」「バイヤー賞」によって若手からの応募を喚起し、製品として魅力ある作品への募集を強化したことにより、昨年度を上回る作品が応募された。

① 開催概要

名称	平成29年度全国伝統的工芸品公募展
後援	経済産業省、中小企業庁、日本商工会議所、全国商工会連合会、全国中小企業団体中央会
応募 入選	工芸品数94品目 / 応募数164点 / 応募者数145名 89点
審査会 作品展	29.12.14(木) 於：協会 全国伝統的工芸品公募展 ー入選作品展ー
会期	29.12.22(金)～30.1.10(水)
会場	伝統工芸青山スクエア

② 審査委員

委員長	増村 紀一郎	東京藝術大学名誉教授 重要無形文化財「髹漆」保持者
副委員長	加藤 庄平	有限会社丸窯製陶所 代表取締役
委員	安藤 重良	一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会代表理事
	宇野 万貴子	高島屋 MD本部 呉服ディビジョン ディビジョン長
	栗田 豊滋	経済産業省 製造産業局 伝統的工芸品産業室 室長
	田中 敦子	工芸ライター
	棚町 敦子	「美しいキモノ」エディトリアル スーパーバイザー
	林 克美	日本伝統工芸士会 副会長
	日野 明子	クラフトバイヤー
	御手洗 照子	有限会社T-POT代表取締役
	諸山 正則	東京国立近代美術館 特任研究員
	吉田 龍太郎	株式会社プレステージ ジャパン 代表取締役

(五十音順・敬称略)

③ 審査結果 入賞11点

【内閣総理大臣賞】	九谷焼	黄磁釉 桜型鉢	山本 篤
【経済産業大臣賞】	笠間焼	笠間色 和菓子皿	佐藤 剛
【経済産業省製造産業局長賞】	越前打刃物	SK06 YOSEGI	増谷 浩司
【中小企業庁長官賞】	江戸切子	結晶	青山 弥生
【日本商工会議所会頭賞】	香川漆器	ホーロク型 四種	佐々木 敏晴
【全国商工会連合会会長賞】	九谷焼	九谷色絵真麗線文組鉢	宮本 雅夫
【全国中小企業団体中央会会長賞】	木曾漆器	彩鉢	西野 孝章
【(一財) 伝統的工芸品産業振興協会賞】	二風谷アットウシ	upas (ウパシ) ～雪～	貝澤 雪子

【日本伝統工芸士会会長賞】	甲州印伝	URUSHINASHIKA (ウルシナシカ)	山本裕輔
		Wallet & 名刺入れ	
【若手奨励賞】	備前焼	一人用コーヒードリッパー「nagom」	安藤騎虎
【バイヤー賞】	十日町明石ちぢみ	変わり七宝つなぎ	吉澤武彦
	木曾漆器	彩鉢	西野孝章

全国伝統的工芸品公募展における出品工芸品の業種別内訳

	指定	非指定	産地計	出品数	前年度比
織物	9	7	16	28	2
染色品	5	2	7	14	2
その他 繊維製品	1	3	4	4	0
陶磁器	11	3	14	24	-3
漆器	12	1	13	30	6
木工品	6	3	9	13	3
竹工品	1	0	1	1	-3
金工品	4	1	5	14	6
仏壇・仏具	1	1	2	3	-2
和紙	1	1	2	2	0
文具	2	1	3	3	1
貴石細工	1	0	1	1	-1
人形・こけし	1	1	2	2	1
諸工芸品	5	9	14	24	24
材料・用具	1	0	1	1	-19
合計	61	33	94	164	17
指定＝経済大臣指定伝統的工芸品，非指定＝経済大臣指定を受けていない工芸品					

2) フォーラム等事業

伝統的工芸品の「技や素材」を活かして、現代のニーズにマッチする新しい商品づくりを支援するため、「作り手」と、さまざまな分野の外部専門家とが参加する8産地8研究会を設置して、新商品を開発した。昨年度に引き続き「インテリアライフスタイル展」に参加したことにより、メディアの取材を受けてPRに結びつけたほか、流通関係者にアピールすることにより、販売取扱い先をひろげ、百貨店等のバイヤーからも出展者に対しコンタクトがあるなど幅広く販売・PRの機会を得た。JAPAN BRAND FESTIVALでは、日頃伝統的工芸品に関心が薄い若年層に伝統的工芸品の魅力をアピールすることができた。

- ① 交流会 参加希望者相互に情報を提供し、互いに「新しい商品づくり」の協力者を探す期間を設定。交流会を開催して作り手とパートナー希望者の情報交換・相互交流を行った。

参加 42社（作り手：16社、パートナー候補：26社）

日時場所 29.5.26（金） 於：協会

② 審査委員会

審査委員会委員（敬称略・50音順）

委員長 桐山登士樹 株式会社TRUNK代表／

富山県総合デザインセンターデザインディレクター

委員	酒井正明	一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会専務理事
	島村卓実	株式会社クルツ 代表取締役
	田中智子	株式会社三越伊勢丹リビングソリューション営業部部長
	長山智美	インテリアスタイリスト
	廣川玉枝	SOMA DESIGN ファッションデザイナー
期日	第1回	29.5.26 (金)
	第2回	29.7.13 (木) (各回とも協会にて開催)

③ 中間報告会

開発中の製品について各研究会から中間報告を行い、審査委員より評価・助言を行った。

期日	第1回	29.9.28 (木)
	第2回	29.11.20 (木) (各回とも協会にて開催)

④ 成果発表会 デザイナー・バイヤー・プレス関係者を招いて成果発表会を行った。

日時	30.2.22 (木)	16:00~18:00	於:協会
来場者	23人 (デザイナー・バイヤー他)		

⑤ インテリアライフスタイル TOKYO への出展

会期	29.6.1 (水) ~ 3 (金)
会場	東京ビッグサイト
出展	7件 (7産地) 約80点

⑥ JAPAN BRAND FESTIVAL への出展

会期	30.3.2 (金) ~ 4 (日)
会場	渋谷ヒカリエ8
出展	7件 (7産地) 約30点

⑦ 青山スクエアでの紹介

常設展において年間を通じて成果品を来場者に紹介した。(3ヶ月毎入替)

出展	5件 (5産地)
----	----------

3) 伝統的工芸品普及・展示等事業

伝統的工芸品とその作り手の周知を拡大するための展示会等は、関連諸団体と連携して実施した。訪日滞在客の直近情報窓口であるホテルコンシェルジュに魅力を体感頂けた。工芸品を本格的な蘊蓄で語るより、「日本」を面白さ、楽しさから語れる「伝手」の拡大は今後一層有効と考える。

① ツーリズムEXPOジャパン2017への参加

国内外の観光事業関係者が出展する「ツーリズムEXPOジャパン2017」に参加し、工芸品産地へ観光客を誘致するため、各工芸品の管轄自治体と連携し、地元の観光案内、伝統的工芸品製作実演披露、製作体験指導、伝統芸能の披露及び伝産会館施設PRを行った。

名称	ツーリズムEXPOジャパン2017
期間	29.9.22 (金) ~ 9.24 (日)
会場	東京ビッグサイト東館
出展工芸品	結城紬、近江上布、波佐見焼、阿波和紙、甲州水晶貴石細工、甲州印伝、甲州手彫印章、丸亀うちわ、山鹿灯籠

事業実施後の産地状況

a. 国内旅行者の増加	結城紬、甲州手彫印章
b. 旅行業関係者からの問合せ	結城紬、甲州手彫印章、山鹿灯籠
c. マスコミの取材	結城紬

地元自治体との連携をうまく行った産地、事前に SNS で情報発信を行った産地は、会期中の来訪者も多く、会期終了後に産地訪問の問合せやマスコミからの取材が増えたところも見られた。具体的なツアー企画等を準備したうえで参加をしないと、旅行会社のツアー購入にはつながりにく

く、地元の自治体や商工・観光諸団体との連携をより一層強固にすることが必要である。

4) 海外展開支援等事業

伝統的工芸技術を活用した商品の海外市場開拓を目指す事業。

まず、伝統的工芸品産業製品及び製造者が海外市場関係者から取引相手として信頼を得るべく、日本の高品質な商品の魅力や、歴史・文化を背景とした独自性などを世界へ発信した。参加した大規模な海外見本市では、数回の継続出展が功を奏し、現地のプレス関係者やバイヤー等に対する「DENSAN」の知名度が確実に上がり、市場への話題提供にも寄与していることを実感。出展者を確実な取引成立に導き成功事例を残すとともに、海外出展未経験者の呼びかけと参加の誘導が引き続きの課題となっている。

第二に、欧米全体へのトレンド発信地でもあるフランス・パリにおいて伝産協会の欧州における拠点として昨年開設したショールームでは、BtoB 取引の本格始動に重点を置いて活動した。より多くの方々に伝統的工芸品への理解を深めていただくため、作り手の実演や講演など、様々なイベントを企画し、現地バイヤー、メディア等への訴求力を高める取り組みを展開するほか、作り手が自ら市場関係者との商談に参加する機会も設けた。

平行して、昨年度に続き、伝統的工芸品をインテリア建材やファッションテキスタイル素材として、欧州の設計事務所、ホテル、大手アパレルブランド等へ訴求するための取組みも実施。フランス・パリにて展示商談会を行った。

① ESPACE DENSAN (エスパス デンサン)

平成28年10月に欧州の拠点として設立したショールーム ESPACE DENSAN において、BtoB の本格的な取り組みを強化した。平成29年度は「MATCHA」「WASHI」「SAKE」「TEXTILE」の4つのテーマを基に期間を区切って産地事業者を募り、各期間3～4事業者が参加した。

また、ショールーム内でのイベントとパリ市内での営業活動のほか、外部施設や外部イベントへの参加を通して新たな顧客やインフルエンサーの獲得に努めた。Ambiente 特集やテスト販売も行い、欧州拠点として活動の幅を広げた。

a. ESPACE DENSAN

会 期	29.4.1 (土) ~ 30.3.31 (土)
出展状況	4~5月 「Ambiente2017 特集」(11事業者)
	6~8月 「MATCHA」小石原焼、鎌倉彫、高岡銅器
	9~10月 「WASHI」石州和紙、大洲和紙、因州和紙
	11月 テスト販売(12事業者)
	12~1月 「SAKE」瀬戸染付焼、高岡銅器
	2~3月 「TEXTILE」秩父銘仙、西陣織、加賀友禅

b. Paris Design Week

9~10月の「WASHI」特集期間中、「紙」をテーマにした市内周遊コースに参加

会 期	29.9.8 (金) ~ 16 (土)
会 場	ESPACE DENSAN

c. パリ日本文化会館

9~10月の「WASHI」特集期間中、参加事業者によるワークショップ及び講演会を開催

会 期	29.9.16 (土)
会 場	パリ日本文化会館

d. Salon du Chocolat

チョコレートの祭典「サロンドュショコラ・パリ 2017」に出展。「ESPACE JAPON」コーナーにて、パティシエのデモンストレーション用に ESPACE DENSAN より器などのテーブルウェアを貸出した。

会 期 29. 10. 28 (土) ~ 11. 1 (水)

会 場 Porte de Versailles Exhibition Center

② 伝統技術の MATERIAL BtoB ビジネス展示商談会

伝統的工芸品をインテリア建材やファッションテキスタイル素材として、欧州の設計事務所、ホテル、大手アパレルブランド等へ訴求するための新規事業を昨年度より始動。伝産協会とアトリエ・ブランマンとの協力により立ち上げられたこの事業は「Japan Artisan Material Project」と題され、その2回目展示会を2018年1月、フランス・パリにて開催した。

会 期 30. 1. 17 (水) ~ 2. 10 (土)

会 場 アトリエ・ブランマン (Atelier Blanc Manteaux)

参加団体 西山産業開発株式会社(牛首紬)

滋賀県麻織物工業協同組合(近江上布)

輪島塗 むり工房楽(輪島塗)

井尻彫刻所(彦根仏壇)

弘誠堂(京表具)

③ Ambiente アンビエンテ 2018/国際消費財見本市

ドイツ・フランクフルトで毎年開催される世界最大級の国際見本市に出展。「DENSAN」としてブースを設け、日本の伝統的工芸品が持つ巧妙さ、優雅さ、美しさを、厳選された12の事業者を通して紹介。それらを作り出す産地を広くヨーロッパのマーケットへ発信するとともに、海外ビジネスの実践の場として多くのバイヤーとの商談機会を得た。

会 期 30. 2. 9 (金) ~ 13 (火) 5日間

会 場 ドイツ・フランクフルト国際見本市会場

ブ ー ス Galleria 0. A04, 9.0 FOYER

テ ー マ THE EXQUISITE DENSAN

参加事業者

織元酒井織物有限会社(本塩沢)

渡文 株式会社(西陣織)

株式会社 二葉(東京染小紋)

株式会社 京都絞美京(京鹿の子絞)

悠游舎(美濃焼)

有限会社 平戸洗祥団右エ門窯(三川内焼)

有限会社 鎌倉彫山水堂(鎌倉彫)

株式会社 うるしアートはりや(山中漆器)

有限会社 鑄心ノ工房(山形鑄物)

有限会社 モメンタムファクトリー・Orii(高岡銅器)

広島筆産業株式会社(熊野筆)

弘誠堂(京表具)

5) 有力団体・企業との連携の推進

① 三井広報委員会が実施する「三井ゴールデン匠賞」の募集告知、候補者推薦、受賞者広報に協力した。

② 一般財団法人大日本蚕糸会に対し、指定産地の中から絹産業振興に貢献した方を推薦した。

5. その他の振興事業

同一業種による情報交換等を目的に、それぞれの団体において下記のとおり開催され、当協会は側面的に支援し、連携の促進に努めた。

1) 日本伝統工芸士会

① 産地伝統工芸士会会長会議(総会)の開催

29. 6. 1 (木) ホテルメトロポリタン(東京都豊島区)

② 第36回全国伝統工芸士大会の開催

29. 11. 2 (木) ホテルメトロポリタン(東京都豊島区)

2) 全国伝産会館連絡協議会

運営検討会の開催

30. 2. 9 (金) 西陣織会館 (京都府京都市)

3) 全国伝統的工芸品仏壇仏具組合連合会

① 総会の開催

29. 7. 3 (月) 於：協会

② エンディング産業展への参加

29. 8. 23 (水) ~ 25 (金) 於：東京ビッグサイト (東京都江東区)

29. 11. 8 (水) ~ 10 (金) 於：インテックス大阪 (大阪府大阪市)

II. 法人の概況

1. 設立年月日

平成23年5月26日

2. 定款に定める目的

この法人は、伝統的工芸品産業の振興を図り、もって国民の生活に豊かさと潤いを与えるとともに地域経済の発展に寄与し、国民経済の健全な発展に資することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- 1) 伝統的工芸品の製造の事業に関する経営の改善及び合理化その他当該事業の健全な経営に関し、調査、研究及び指導を行うこと。
- 2) 展示会の開催その他需要の開拓を行うこと。
- 3) 会員に対し、伝統的工芸品に関する需要の状況、製造の技術又は技法、原材料等について情報の提供を行うこと。
- 4) 伝統的工芸品産業に関する振興計画及び共同振興計画の作成及びその実施について指導、助言等を行うこと。
- 5) 伝統的工芸品の原材料、製造過程、品質等の改善に関する研究を行うこと。
- 6) 伝統的工芸品及び伝統的工芸品を素材とした製品の品質表示について指導、助言等を行うこと。
- 7) 伝統的工芸品に関する資料の収集及び調査を行うこと。
- 8) 伝統的な技術又は技法に熟練した従事者の認定を行うこと。
- 9) 伝統的工芸品産業に関する活性化事業、連携活性化事業及び支援事業の実施に必要な情報の提供を行うこと。
- 10) 伝統的工芸品産業の後継者の育成、技術・技法の継承及び改善に関する事業を行うこと。
- 11) 伝統的工芸品及び伝統的工芸品に関連する物品の販売の事業を行うこと。
- 12) その他この法人の目的を達成するため、必要な事業を行うこと。

4. 会員の状況

会 員	30. 3. 31現在	29. 3. 31現在
産地組合	234	230
団 体	45	44
企業・個人	133	132
都府県・政令市	56	56
市区町村	118	119
合 計	586	581

5. 主たる事務所の状況

〒107-0052 東京都港区赤坂8丁目1番22号

Ⅲ. 役員会等に関する事項

1. 理事会の開催

1) 第32回理事会

開催日	29.5.23 (火)
会場	当協会会議室
出席理事	12名
議案	第1号議案 平成28年度 事業報告及び収支決算 第2号議案 平成28年度 公益目的支出計画実施報
報告事項	(1) 平成28年度 青山スクエア年次報告 (2) 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告 (3) 平成28年度 理事会交流会収支決算報告 (4) 平成28年度 出品者協議会収支決算報告

2) 第33回理事会

開催日	29.7.4 (火)
会場	当協会会議室
出席理事	12名
議案	第1号議案 代表理事、副代表理事、業務執行理事、常務理事の選任 第2号議案 常勤理事追加選任の検討 第3号議案 評議員選定委員会外部委員の選任 第4号議案 委員手当等の支出に関する内規の改定

3) 第34回理事会

開催日	29.11.4 (土)
会場	東京国際フォーラム 5階「G507」
出席理事	10名
議案	第1号議案 就業規則の改定 第2号議案 評議員の異動 第3号議案 決算理事会の日程の変更 議案外提案 伝統的工芸品月間負担金の減額
報告事項	(1) 平成29年度上半期(4~9月)収支状況 (2) 伝統的工芸品産業大賞表彰者 (3) 平成30年度からの賃借料の改定 (4) 九州北部豪雨災害「小石原焼」支援金 (5) 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告

4) 第35回理事会

開催日	29.12.15 (金)
会場	弘済会館 4階「蘭」
出席理事	11名
議案	第1号議案 新常勤理事候補者の選定 第2号議案 常勤理事の職務の決定 第3号議案 常勤理事の報酬の決定 議案外提案 来年度(平成30年度)協会事業

5) 第36回理事会

開催日	30.3.15 (木)
会場	当協会会議室
出席理事	13名
議案	第1号議案 平成30年度 事業計画 第2号議案 伝統的工芸品月間事業負担金の減額 第3号議案 職員給与規程の改定 第4号議案 青山スクエア消費者相談員(嘱託)の雇用延長 第5号議案 平成30年度 収支予算 第6号議案 第37回理事会の開催 第7号議案 定時評議員会の開催 第8号議案 常勤理事の職責
報告事項	(1) 伝統的工芸品展 WAZA (東武百貨店) 開催報告(速報) (2) 海外見本市(アンビエンテ/独フランクフルト) 出展報告 (3) 自由民主党伝統的工芸品産業振興議員連盟総会報告 (4) 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告

2. 評議員会の開催

1) 第12回評議員会

開催日	29.6.16 (金)
会場	当協会会議室
出席評議員	6名
議案	第1号議案 平成28年度事業報告及び収支決算について 第2号議案 次期理事の選任について
報告事項	(1) 平成28年度公益目的支出計画実施報告について (2) 平成28年度 青山スクエア年次報告について (3) 平成28年度出品者協議会収支決算報告について

2) 第13回評議員会

開催日	30.2.1 (木)
会場	当協会会議室
出席評議員	7名
議案	第1号議案 理事(常勤)の選任について

3. 評議員選定委員会の開催

開催日	29.11.30 (木)
会場	当協会会議室
出席委員	4名
議案	評議員の補充選任について

4. 平成29年度伝統的工芸品産地連絡会議の開催

開催日	29.9.21 (木)
会場	弘済会館4階会議室「萩」
協会説明	(1) 伝産協会の取り組みについて (2) 産地からのご意見、ご要望を紹介し、それに対する返答 (3) 成功事例や新しい動きなどを産地から発表

5. 業務執行会議の開催

- 29. 4.19 (水)
- 29. 5.16 (火)
- 29. 7.13 (木)
- 29. 8.23 (水)
- 29.10.12 (木)
- 29.11.17 (金)
- 29.12.15 (金)
- 30. 1.18 (木)
- 30. 2.15 (木)
- 30. 3. 9 (木)

IV. 庶務事項

1. 基本財産の造成

※下記1)、2)の表の金額は、時価評価ではなく、実際にご入金いただいた金額を記載

1) 基本財産の内訳

単位:円

区 分	平成 29 年度	昭和 50 年度～平成 28 年度	累 計
国	0	300,000,000	300,000,000
地方公共団体	0	295,000,000	295,000,000
民 間	50,000	185,645,000	185,695,000
伝統的工芸品産業振興協会	0	860,000	860,000
計	50,000	781,505,000	781,555,000

2) 民間寄付金・負担金の業種別状況

単位:円

業種	平成 29 年度		昭和 50 年度～平成 28 年度		累 計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
織 物	0	0	41	32,600,000	41	32,600,000
染色・繊維製品	0	0	27	11,440,000	27	11,440,000
陶 磁 器	0	0	39	12,850,000	39	12,850,000
漆 器	0	0	25	7,690,000	25	7,690,000
木 竹 品	0	0	35	10,500,000	35	10,500,000
金 工 品	0	0	21	5,000,000	21	5,000,000
仏 壇	0	0	18	5,425,000	18	5,425,000
和紙・文具	0	0	31	4,750,000	31	4,750,000
諸工芸品	1	50,000	42	8,250,000	43	8,300,000
銀 行 等	0	0	9	75,000,000	9	75,000,000
団体・個人	0	0	29	12,140,000	29	12,140,000
計	1	50,000	317	185,645,000	318	185,695,000

2. 収支及び正味財産増減の状況並びに財産の状態の推移

単位:百万円

事業年度	30年3月期	29年3月期	28年3月期	27年3月期	26年3月期	25年3月期
前期繰越収支差額	43	15	16	9	17	45
当期収入合計	1,009	1,041	1,002	965	804	1,211
当期支出合計	1,010	1,013	1,003	958	812	1,239
当期収支差額	△1	28	△1	7	△8	△28
次期繰越収支差額	42	43	15	16	9	17
資産合計	1,027	1,019	1,026	990	997	1,069
負債合計	154	143	149	140	166	220
正味財産	873	876	877	850	831	849

3. その他の庶務事項

1) 登 記

29. 10. 5

理事及び代表理事の変更

30. 1. 19	評議員の変更
2) 監事監査	
29. 5.15	平成 28 年度事業及び決算に対する監査
3) 補助金監査等	
29. 4.19～21	平成 28 年度補助金確定監査(経済産業省)
29. 5. 8～12	平成 28 年度収支決算についての調査(岡部公認会計士事務所)
29. 5.29～30	会計実地検査(会計検査院)
4) 報告	
29. 6.27	内閣総理大臣宛 公益目的支出計画実施報告書提出(電子申請)
5) 国庫補助金関係手続	
29. 3.29	平成 29 年度交付申請
29. 4. 3	平成 29 年度交付決定
29. 4.10	平成 28 年度実績報告
29. 5.16	平成 28 年度補助金額確定
29. 5.24	平成 29 年度第 1 回概算払請求
29. 6. 2	平成 29 年度第 1 回交付 65,000,000 円
29. 6.27	平成 26 年度修正実績報告
29. 7.14	平成 29 年度第 2 四半期報告
29. 7.14	平成 29 年度第 2 回概算払請求
29. 7.25	平成 29 年度第 2 回交付 135,000,000 円
29. 8. 2	平成 26 年度補助金額再確定
29.10.24	平成 29 年度第 2 四半期報告
29.10.24	平成 29 年度第 3 回概算払請求
29.11. 2	平成 29 年度第 3 回交付 200,000,000 円
30. 1.25	平成 29 年度第 3 四半期報告
30. 1.25	平成 29 年度第 4 回概算払請求
30. 1.29	平成 29 年度計画変更承認申請
30. 2. 1	平成 29 年度第 4 回交付 150,000,000 円
30. 2. 7	平成 29 年度計画変更承認
30. 2.23	平成 29 年度第 5 回概算払請求
30. 3. 2	平成 29 年度第 5 回交付 150,000,000 円

4. 会員名簿 (586)

○会員名簿(順不同)30.3.31現在

指定品の産地組合(234)※2業種に同じ産地組合

<織物>(38)

二風谷民芸組合※
置賜紬伝統織物協同組合
羽越しな布振興協議会
昭和村からむし後継者育成協議会
茨城県本場結城紬織物協同組合
栃木県本場結城紬織物協同組合
伊勢崎織物工業組合
桐生織物協同組合
秩父銘仙協同組合
村山織物協同組合
黄八丈織物協同組合
八王子織物工業組合
塩沢織物工業協同組合
小千谷織物同業協同組合
十日町織物工業協同組合
長野県織物工業組合
石川県牛首紬生産振興協同組合
滋賀県麻織物工業協同組合
西陣織工業組合
鳥取県弓浜緋協同組合
阿波しじら織協同組合
博多織工業組合
久留米緋協同組合
都城絹織物事業協同組合
鹿児島県本場大島紬協同組合連合会
本場奄美大島紬協同組合
本場大島紬織物協同組合
鹿児島県絹織物工業組合
久米島紬事業協同組合
宮古織物事業協同組合
読谷山花織事業協同組合
琉球緋事業協同組合
那覇伝統織物事業協同組合
与那国町伝統織物協同組合
喜如嘉芭蕉布事業協同組合
竹富町織物事業協同組合
石垣市織物事業協同組合
知花花織事業協同組合

<染色>(17)

東京都染色工業協同組合

東京都工芸染色協同組合
協同組合加賀染振興協会
愛知県絞工業組合
名古屋友禅黒紋付協同組合連合会
京鹿の子絞振興協同組合
京都絞工業協同組合
京友禅協同組合連合会
京都友禅協同組合
京都誂友禅工業協同組合
京都工芸染匠協同組合
京都手描友禅協同組合
京都黒染工業協同組合
京都紋章糊置協同組合
京都紋章工芸協同組合
京都染色補正工業協同組合
琉球びんがた事業協同組合

<繊維その他>(4)

石川県加賀刺繍協同組合
三重県組紐協同組合
京都刺繍協同組合
京くみひも工業協同組合

<陶磁器>(31)

大堀相馬焼協同組合
会津本郷焼事業協同組合
笠間焼協同組合
益子焼協同組合
石川県九谷陶磁器商工業協同組合連合会
とこなめ焼協同組合
美濃焼伝統工芸品協同組合
赤津焼工業協同組合
瀬戸染付焼工業協同組合
三州鬼瓦製造組合
萬古陶磁器工業協同組合
伊賀焼振興協同組合
越前焼工業協同組合
信楽陶器工業協同組合
京都陶磁器協同組合連合会
丹波立杭陶磁器協同組合
出石焼陶友会
石見陶器工業協同組合
協同組合岡山県備前焼陶友会
萩陶芸家協会
大谷焼陶業協会
砥部焼協同組合
小石原焼陶器協同組合

上野焼協同組合
佐賀県陶磁器工業協同組合唐津焼協同組合
三川内陶磁器工業協同組合
波佐見陶磁器工業協同組合
小代焼窯元の会
天草陶磁振興協議会
鹿児島県薩摩焼協同組合
壺屋陶器事業協同組合

<漆器> (22)

青森県漆器協同組合連合会
岩手県漆器協同組合
鳴子漆器協同組合
秋田県漆器工業協同組合
会津漆器協同組合
伝統鎌倉彫事業協同組合
伝統小田原漆器組合
村上堆朱事業協同組合
新潟市漆器同業組合
木曾漆器工業協同組合
伝統工芸高岡漆器協同組合
輪島漆器商工業協同組合
山中漆器連合協同組合
金沢漆器商工業協同組合
飛騨春慶連合協同組合
越前漆器協同組合
若狭漆器協同組合
京都漆器工芸協同組合
紀州漆器協同組合
大内塗漆器振興協同組合
香川県漆器工業協同組合
琉球漆器事業協同組合

<木工品・竹工品> (31)

二風谷民芸組合※
岩谷堂箆笥生産協同組合
仙台箆笥協同組合
角館工芸協同組合
大館曲げわっぱ協同組合
秋田杉桶樽協会
奥会津三島編組品振興協議会
春日部桐たんす組合
江戸指物協同組合
江戸和竿組合
小田原箱根伝統寄木協同組合
静岡竹工芸協同組合
加茂箆笥協同組合

松本家具工芸協同組合
南木曾ろくろ工芸協同組合
名古屋桐箆笥工業協同組合
飛騨一位一刀彫協同組合
井波彫刻協同組合
越前指物組合
京都木工芸協同組合
大阪欄間工芸協同組合
大阪唐木指物協同組合
大阪泉州桐箆笥製造協同組合
大阪簾工業協同組合
兵庫県杞柳製品協同組合
奈良県高山茶釜生産協同組合
紀州桐箆笥協同組合
紀州製竿組合
宮島細工協同組合
別府竹製品協同組合
都城弓製造業協同組合

<金工品> (16)

岩手県南部鉄器協同組合連合会
山形鑄物伝統工芸組合
千葉県打刃物連絡会
東京金銀器工業協同組合
東京アンチモニー工芸協同組合
燕銅器工芸組合
越後与板打刃物組合
越後三条鍛冶集団
信州打刃物工業協同組合
伝統工芸高岡銅器振興協同組合
越前打刃物産地協同組合連合会
堺刃物商工業協同組合連合会
錫器事業協同組合
三木工業協同組合
高知県土佐刃物連合協同組合
肥後象がん振興会

<仏壇・仏具> (16)

山形県仏壇商工業協同組合
新潟仏壇組合
白根佛壇協同組合
長岡地域仏壇協同組合
三条・燕・西蒲仏壇組合
飯山仏壇事業協同組合
金沢仏壇商工業協同組合
七尾仏壇協同組合
名古屋仏壇商工協同組合

三河仏壇振興協同組合
彦根仏壇事業協同組合
京都府仏具協同組合
大阪宗教用具商工協同組合
広島宗教用具商工協同組合
八女福島仏壇仏具協同組合
鹿児島県川辺仏壇協同組合

<和紙> (9)

内山紙協同組合
富山県和紙協同組合
美濃手すき和紙協同組合
福井県和紙工業協同組合
鳥取県因州和紙協同組合
石州和紙協同組合
阿波手漉和紙商工業協同組合
大洲手すき和紙協同組合
高知県手すき和紙協同組合

<文具> (11)

雄勝硯生産販売協同組合
豊橋筆振興協同組合
鈴鹿製墨協同組合
播州算盤工芸品協同組合
兵庫県木珠事業協同組合
播州算盤製造業組合
奈良毛筆協同組合
雲州算盤協同組合
熊野筆事業協同組合
川尻毛筆事業協同組合
山口県赤間硯生産協同組合

<石工品・貴石細工> (7)

真壁石材協同組合
山梨県水晶美術彫刻協同組合
岡崎石製品協同組合連合会
京都府石材業協同組合
鳥取県石灯籠協同組合
松江石灯ろう協同組合
来待石灯ろう協同組合

<人形・こけし> (9)

鳴子木地玩具協同組合
遠刈田伝統こけし組合
弥治郎こけし業協同組合
仙台地区伝統こけし工人組合
東京都雛人形工業協同組合

岩槻人形協同組合
駿河雛人形伝統工芸士会
京人形商工業協同組合
博多人形商工業協同組合

<諸工芸品> (21)

山形県将棋駒協同組合
房州うちわ振興協議会
江戸からかみ協同組合
江戸切子協同組合
東京伝統木版画工芸協同組合
一般社団法人東部硝子工業会
東京鼈甲組合連合会
甲府印伝商工業協同組合
山梨県印章店協同組合
岐阜提灯協同組合
七宝町七宝焼生産者協同組合
名古屋七宝協同組合
越中福岡の菅笠振興会
京都扇子団扇商工協同組合
京表具協同組合連合会
播州釣針協同組合
福山邦楽器製造業協同組合
香川県うちわ協同組合連合会
八女提灯協同組合
長崎鼈甲組合連合会
山鹿灯籠振興会

<工芸用具・工芸材料> (3)

庄川木工協同組合
石川県箔商工業協同組合
伊勢形紙協同組合

指定品以外の組合・団体・企業(176)

<商工会議所> (7)

東京商工会議所
十日町商工会議所
鈴鹿商工会議所
彦根商工会議所
京都商工会議所
広島商工会議所
福岡商工会議所

<団体> (38)

伊予手抄和紙振興会
協同組合瀬戸内ファニチャー
(一財)京都伝統工芸産業支援センター

(公財)京都伝統産業交流センター
京都伝統産業青年会
京都陶磁器卸商業協同組合
(一財)京都陶磁器協会
 (一財)熊本県伝統工芸館
黒谷和紙振興会
(一財)経済産業調査会
埼玉県小川和紙工業協同組合
(一財)省エネルギーセンター
全国染色協同組合連合会
全国伝産会館運営連絡協議会
全国伝産金工品組合協議会
全国伝産陶磁器組合協議会
全国伝産和紙筆墨硯組合協議会
全国伝統的工芸品仏壇仏具組合連合会
全国籐商工業連合会
(一社)全日本きもの振興会
(一財)大日本蚕糸会
(公財)高岡地域地場産業センター
(一財)地域伝統芸能活用センター
伝統的工芸品出品者協議会
東京都漆器商工業協同組合
(公財)東京富士美術館
奈良県工芸協会
奈良製墨協同組合
日本漆器協同組合連合会
(一社)日本漆工協会
(公社)日本図案家協会
日本伝統工芸士会
(一社)日本伝統染色工芸保存協会
(一財)日本陶業連盟
(一社)日本人形協会
福岡県伝統的工芸品振興協議会
三井広報委員会
映画デンサン実行委員会

<銀行> (6)

商工組合中央金庫
住友信託銀行(株)
(一社)全国地方銀行協会
三菱信託銀行(株)
(株)三菱東京 UFJ 銀行
(株)りそな銀行

<企業・個人> (127)

(株)相澤企画
(株)愛知印刷工業

(有)愛知屋総本店
(株)愛知屋佛壇本舗
阿久澤宏一郎
浅井仏壇店
(株)浅野商店
アスクール(株)
荒井伸二
泉屋(株)
(株)和泉利器製作所
一和堂工芸(株)
井上スダレ(株)
(有)井上彦兵衛商店
 (株)伊保石匠社
今井崇子
岩手県産(株)
(株)岩野平三郎製紙所
(有)岩谷堂家具センター
(株)印伝屋 上原勇七
 (株)永楽屋
大阪錫器(株)
大阪仏壇仏具センター(株)越前屋
大澤美術鑄造所
大淵木芸
(株)オゼキ
(株)オール・コレクト
 (有)家具のあづま
(株)笠井仏壇工芸
(株)学研教育出版
(有)カネキン小椋製盆所
川合康夫
川嶋信之
(株)岸タンス店
岐津(株)きづな堂
木下らんま店
(有)桐の蔵
近畿日本ツーリスト(株)関東営業本部
(株)久保田号
(株)熊木
(株)クラーチ
(株)弘報社
小出大佛本店
(株)幸修園
河野打刃物 河野忠喜
(有)工房田中
(有)近藤仏壇店
佐藤哲夫
(有)さとくガーデン

(株)三和エフエムデザイン
(株)C.A.L.
(株)シガ木工茂木団扇
(有)茂野タンス店
漆器山富(有)漆芸しばた
(株)シメノ
(有)進誠堂
(株)杉浦仏壇店
(株)鈴木佛壇店
スミス・インターナショナル・ジャパン(株)
誠心堂
(株)西武百貨店
(株)ソーゴブレイン
(株)大黒屋佛壇店
(株)ダイヤモンド社
田上民芸
高辻康弘
(株)高橋新吾タンス店
高橋芳郎タンス店
詫間宝石彫刻
(株)田中家具製作所
(株)箆笥の松本
(株)ツヴァイ
(株)つかもと
土山健介
露木啓雄
テレビ朝日映像(株)
(株)東武百貨店
東北電力(株)
東洋佐々木ガラス(株)
TOTO(株)
(株)東レ経営研究所
(株)TRUNK
(株)トンナ佛宝堂
永井長吉タンス店
中澤唐木(株)
(有)中島徽章
ナカダ(株)
(有)永田刃物
(株)永田屋仏壇店
(有)中根佛壇店
(株)ナビバード
成田商事(株)
日中民間工芸家友好促進会(株)
日本文教出版(株)
(有)にんぎょつ子
橋本屋仏壇店

(株)ビータス
(有)ひでや
(有)廣川仏壇店
FolkVisual Japan
(株)福宝
(株)藤木伝四郎商店
(有)ブレインカフェ
ホクエツ印刷(株)
(株)毎日映画社
(株)マネジメントパートナーズ
(株)まほろ印工
(株)三越日本橋本店
(株)三村松
(株)宮岸仏具
モテギ(株)
望月一宏
(株)森繁
森谷大仏堂
柳田昌信
(株)山谷産業
(株)やまと
(有)山本石材店
ユーシーカード(株)
(株)郵趣サービス社
吉村勝博
(株)米永
(株)Ryu Gin Japan
(有)蓮華堂
(株)若山仏壇店
渡邊恒子

5. 平成29年度作成資料等一覧

1) 実施要領等

伝統工芸士試験受験要領
伝統工芸士認定事業試験実施の手引き
伝統工芸士認定事業事務処理解説書
伝統工芸士読本(研修・試験テキスト)
伝統工芸士研修会実施要領
児童・生徒に対する伝統的工芸品教育事業実施要領
伝統的工芸ふるさと体験・交流事業実施要領
伝統工芸青山スクエア出品のご案内
伝統的工芸品月間国民会議全国大会式典プログラム
JAPAN TRADITIONAL CRAFTS WEEK 2017 開催要綱
伝統工芸ふれあい広場・TOKYO 開催骨子
全国くらしの工芸展・TOKYO 開催要項
伝統的工芸品産業大賞実施要項
伝統的工芸品展 WAZA2018 開催要綱
伝統的工芸品展 WAZA2018 出品の手引き
全国伝統的工芸品公募展応募要項
フォーラム事業実施要領
外国人による伝統的工芸品産地紹介事業実施要領
インバウンド事業実施要領
ESPACE DENSAN 出品の手引き
Ambiente2018 出品の手引き

2) 報告書

伝統工芸士認定事業報告書
児童・生徒に対する伝統的工芸品教育事業報告書
伝統的工芸ふるさと体験・交流事業報告書
新規従事者指導支援事業報告書
伝統的工芸品月間国民会議全国大会報告書
伝統工芸ふれあい広場・TOKYO 報告書
全国伝統的工芸品展・TOKYO 報告書
JAPAN TRADITIONAL CRAFTS WEEK2017 報告書
伝統的工芸品展 WAZA2018 報告書
全国伝統的工芸品公募展報告書
ソーリズム EXPO ジャパン 2017 報告書
伝統技術のマテリアル BtoB ビジネス展示商談会 2018 活動報告
Ambiente アンビエンテ 2018 報告書
フランス・パリ ESPACE DENSAN 活動報告
フォーラム事業報告書

3) ポスター・パンフレット・書籍等

伝統工芸士試験ポスター
伝統工芸青山スクエア特別展 DM
JAPAN TRADITIONAL CRAFTS WEEK 2017 ポスター
JAPAN TRADITIONAL CRAFTS WEEK 2017 パンフレット

JAPAN TRADITIONAL CRAFTS WEEK 2017リーフレット
伝統工芸ふれあい広場・TOKYO パンフレット
伝統的工芸品展 WAZA 2018 ポスター
伝統的工芸品展 WAZA 2018 チラシ
伝統的工芸品展 WAZA 2018 外国人向けパンフレット(英語版・繁体字版・簡体字版)
伝統的工芸品展 WAZA 2018 DM
伝統的工芸品展 WAZA 2018 クリアファイル
全国伝統的工芸品公募展作品募集ポスター
全国伝統的工芸品公募展チラシ
伝統工芸青山スクエアサインパネル
伝統工芸青山スクエアパンフレット(中国語版)
伝統工芸青山スクエアショップカード(日本語版・英語版)
伝統工芸青山スクエア特別展ポスター(赤坂郵便局)
ESPACE DENSAN ショールームパンフレット
JAPAN ARTISAN MATERIAL パンフレット
Ambiente2018 出展パンフレット
伝統工芸青山スクエアメロナビマップ

事業報告の附属明細書

平成29年度事業報告には、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書は作成していない。

平成29年度 収支決算書

I. 財務諸表

1. 貸借対照表	3 6
2. 正味財産増減計算書	3 7 ~ 4 2
3. 財産目録	4 3
4. 財務諸表に対する注記	4 4 ~ 4 7
5. 附属明細書	4 8

貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	333,062	449,863	△ 116,801
貯蔵品	1,989,110	1,104,776	884,334
銀行預金	117,666,301	114,659,311	3,006,990
未収金	12,619,535	10,921,513	1,698,022
前払金	395,600	414,920	△ 19,320
仮払金	477,232	1,890,549	△ 1,413,317
流動資産合計	133,480,840	129,440,932	4,039,908
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	551,138,000	689,284,500	△ 138,146,500
銀行預金	223,456,500	81,010,566	142,445,934
基本財産合計	774,594,500	770,295,066	4,299,434
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	52,003,182	52,003,182	0
運営強化基金資産	50,000,000	50,000,000	0
特定資産合計	102,003,182	102,003,182	0
(3) その他の固定資産			
什器備品	16,357,922	16,481,776	△ 123,854
電話加入権	643,078	643,078	0
その他の固定資産合計	17,001,000	17,124,854	△ 123,854
固定資産合計	893,598,682	889,423,102	4,175,580
資産合計	1,027,079,522	1,018,864,034	8,215,488
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	88,728,557	83,252,658	5,475,899
預り金	2,073,194	1,219,824	853,370
前受金	791,256	1,088,000	△ 296,744
仮受金	137,191	757,593	△ 620,402
賞与引当金	5,007,649	4,932,778	74,871
流動負債合計	96,737,847	91,250,853	5,486,994
2. 固定負債			
退職給付引当金	57,308,751	52,003,182	5,305,569
固定負債合計	57,308,751	52,003,182	5,305,569
負債合計	154,046,598	143,254,035	10,792,563
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
国庫補助金	300,000,000	300,000,000	0
地方公共団体寄付金	295,000,000	295,000,000	0
民間寄付金	179,594,500	175,295,066	4,299,434
指定正味財産合計	774,594,500	770,295,066	4,299,434
(うち基本財産への充当額)	(774,594,500)	(770,295,066)	4,299,434
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	98,438,424	105,314,933	△ 6,876,509
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(50,000,000)	(50,000,000)	0
正味財産合計	873,032,924	875,609,999	△ 2,577,075
負債及び正味財産合計	1,027,079,522	1,018,864,034	8,215,488

科 目	当年度	前年度	増減
選定員謝金	0	75,000	△ 75,000
選定員旅費	0	7,740	△ 7,740
実演費	22,411,012	16,833,596	5,577,416
説明員旅費	16,118,481	15,493,703	624,778
消費者相談員謝金	2,874,034	2,692,106	181,928
試験費	3,555,010	3,911,355	△ 356,345
認定費	212,544	236,574	△ 24,030
交流会費	105,840	105,840	0
調査・診断費	0	12,817,338	△ 12,817,338
研究会費	4,976,012	4,970,730	5,282
備品費	0	441,845	△ 441,845
光熱水料	3,648,977	3,169,124	479,853
内装費	1,326,961	324,000	1,002,961
梱包運送費	18,582,624	17,640,264	942,360
装飾費	111,475,210	114,870,084	△ 3,394,874
資料購入費	10,124	643,470	△ 633,346
職員旅費	4,727,717	7,758,885	△ 3,031,168
アルバイト賃金	34,747,365	35,823,589	△ 1,076,224
印刷費	6,692,386	10,698,259	△ 4,005,873
審査員謝金	200,000	300,000	△ 100,000
審査員旅費	24,000	126,840	△ 102,840
写真撮影費	118,800	233,380	△ 114,580
通信運搬費	6,333,769	7,247,619	△ 913,850
消耗品費	1,992,989	1,923,245	69,744
雑役務費	40,524,259	48,273,237	△ 7,748,978
清掃料	2,663,280	2,663,280	0
警備費	875,123	777,550	97,573
保険料	2,150,739	2,723,180	△ 572,441
試作費	715,600	678,240	37,360
実演トーク開催費	28,970,464	40,211,654	△ 11,241,190
新規従事者支援費	16,350,000	0	16,350,000
法定福利費(アルバイト)	2,958,105	3,428,667	△ 470,562
栄典費	1,853	42,905	△ 41,052
研修会開催費	1,561,453	1,311,651	249,802
証紙等製造費	1,850,521	1,435,280	415,241
イベント開催費	73,492,642	51,081,290	22,411,352
外国人誘致費	409,530	659,173	△ 249,643
記念品費	2,820,380	3,009,355	△ 188,975
伝統的工芸品WAZA展引当金繰入支出	1,000,000	2,000,000	△ 1,000,000
雑費	6,303,860	5,862,848	441,012
租税公課	280,800	377,592	△ 96,792
減価償却費	3,957,143	3,770,435	186,708

科 目	当年度	前年度	増減
②管理費	78,993,346	73,896,786	5,096,560
役員報酬	3,111,093	3,660,000	△ 548,907
職員給与	11,111,980	9,737,076	1,374,904
法定福利費(役職員)	2,162,370	1,921,807	240,563
退職給付費用	1,061,122	918,463	142,659
賞与引当金繰入額	1,001,541	887,909	113,632
借料及び損料	32,745,672	31,428,772	1,316,900
備品費	1,146,557	127,872	1,018,685
光熱水料	1,547,197	1,326,403	220,794
通信運搬費	725,861	1,355,471	△ 629,610
雑役務費	9,623,252	12,087,108	△ 2,463,856
清掃料	1,129,260	1,129,260	0
印刷製本費	214,090	194,184	19,906
委員等旅費	4,026,970	3,132,500	894,470
会議費	737,149	1,071,363	△ 334,214
職員旅費	1,213,792	1,182,092	31,700
消耗品費	555,157	386,473	168,684
法定福利費(アルバイト)	510,712	535,260	△ 24,548
厚生費	169,416	151,569	17,847
雑費	1,777,720	748,400	1,029,320
租税公課	2,891,595	1,883,606	1,007,989
減価償却費	2,150	31,198	△ 29,048
支払寄付金	1,528,690	0	1,528,690
經常費用計	1,015,401,040	990,816,173	24,584,867
当期經常増減額	△ 6,617,309	33,158,930	△ 39,776,239
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
過年度消費税還付金	0	17,642,687	△ 17,642,687
經常外収益計	0	17,642,687	△ 17,642,687
(2) 經常外費用			
過年度事業支出	259,200	1,673,890	△ 1,414,690
經常外費用計	259,200	1,673,890	△ 1,414,690
当期經常外増減額	△ 259,200	15,968,797	△ 16,227,997
当期一般正味財産増減額	△ 6,876,509	49,127,727	△ 56,004,236
一般正味財産期首残高	105,314,933	56,187,206	49,127,727
一般正味財産期末残高	98,438,424	105,314,933	△ 6,876,509
II 指定正味財産増減の部			0
(1) 基本財産収入	50,000	0	50,000
(2) 基本財産評価損益	4,249,434	△ 50,512,000	54,761,434
当期指定正味財産増減額	4,299,434	△ 50,512,000	54,811,434
指定正味財産期首残高	770,295,066	820,807,066	△ 50,512,000
指定正味財産期末残高	774,594,500	770,295,066	4,299,434
			0
III 正味財産期末残高	873,032,924	875,609,999	△ 2,577,075

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

科 目	実施事業等会計															その他会計							法人会計	内部取引控除	合計			
	伝統工芸士	功勞	教育	ふるさと	振興指導	産地診断	普及	センター	月間推進	IT活用	公募展	フォーラム	活用展	子ども体験	図画・作文	共通	小計	普及展示	海外展示	伝統証紙	工芸士展	連携推進				共通	小計	
梱包運送費	960	0	0	0	0	0	0	1,442,974	4,196,913	0	263,568	80,283	0	6,925,230	0	0	12,909,928	215,068	5,456,456	0	1,172	0	0	5,672,696			18,582,624	
装飾費	0	0	0	0	0	0	0	3,233,970	36,916,380	0	2,403,000	2,438,411	0	26,220,240	0	0	71,212,001	3,957,294	25,742,327	0	10,563,588	0	0	40,263,209			111,475,210	
資料購入費	0	0	0	0	0	0	0	10,124	0	0	0	0	0	0	0	0	10,124	0	0	0	0	0	0	0			10,124	
職員旅費	623,402	638	36,090	352,640	760,798	0	57,815	78,907	258,264	0	33,121	18,158	0	257,790	0	0	2,477,623	12,091	2,238,003	0	0	0	0	2,250,094			4,727,717	
アルバイト賃金	0	0	0	690,000	0	1,150,000	0	20,477,944	9,567,033	0	0	0	0	2,862,388	0	0	34,747,365	0	0	0	0	0	0	0			34,747,365	
印刷費	1,163,430	0	62,532	55,080	0	0	0	0	5,046,703	0	323,265	0	0	41,376	0	0	6,692,386	0	0	0	0	0	0	0			6,692,386	
審査員謝金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	200,000	0	0	0	0	0	200,000	0	0	0	0	0	0	0			200,000	
審査員旅費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24,000	0	0	0	0	0	24,000	0	0	0	0	0	0	0			24,000	
写真撮影費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	118,800	0	0	0	0	0	118,800	0	0	0	0	0	0	0			118,800	
通信運搬費	603,995	35,377	313,778	303,491	56,536	140,920	1,404,299	289,698	1,985,759	15,431	42,041	71,769	0	430,175	0	0	5,693,269	108,623	366,345	125,471	40,061	0	0	640,500			6,333,769	
消耗品費	36,624	10,429	119,577	77,325	19,418	13,007	81,803	160,472	1,004,316	7,482	9,443	39,240	0	137,115	0	0	1,716,251	9,958	258,423	1,246	7,111	0	0	276,738			1,992,989	
雑役務費	2,067,395	2,306	4,359,292	2,272,995	74,746	16,939	2,104,653	13,014,502	11,547,103	27,010	52,613	45,358	0	1,658,008	0	0	37,242,920	226,954	3,028,506	3,924	21,955	0	0	3,281,339			40,524,259	
清掃料	0	0	0	0	0	0	0	2,663,280	0	0	0	0	0	0	0	0	2,663,280	0	0	0	0	0	0	0			2,663,280	
警備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	875,123	0	0	0	0	875,123			875,123	
保険料	0	0	0	0	0	0	0	395,600	1,105,040	0	0	0	0	5,540	0	0	1,506,180	0	644,559	0	0	0	0	644,559			2,150,739	
試作費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	715,600	0	0	715,600	0	0	0	0	0	0	0			715,600	
実演トーク開催費	0	0	0	28,970,464	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28,970,464	0	0	0	0	0	0	0			28,970,464	
新規従事者支援費	0	0	0	16,350,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16,350,000	0	0	0	0	0	0	0			16,350,000	
法定福利費(アルバイト)	0	0	0	0	29,110	0	0	1,849,144	607,746	0	0	0	0	472,105	0	0	2,958,105	0	0	0	0	0	0	0			2,958,105	
栄典費	1,853	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,853	0	0	0	0	0	0	0			1,853	
研修会開催費	1,561,453	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,561,453	0	0	0	0	0	0	0			1,561,453	
証紙等製造費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,850,521	0	0	0	0	1,850,521			1,850,521	
イベント開催費	0	0	0	0	0	0	0	0	4,719,661	0	0	0	0	11,262,774	0	0	15,982,435	0	0	0	0	57,510,207	0	57,510,207			73,492,642	
外国人誘致費	0	0	0	0	0	0	409,530	0	0	0	0	0	0	0	0	0	409,530	0	0	0	0	0	0	0			409,530	
記念品費	0	200,000	0	0	0	0	0	0	1,780,380	0	840,000	0	0	0	0	0	2,820,380	0	0	0	0	0	0	0			2,820,380	
伝統的工芸品展WAZA引当金繰入額									1,000,000								1,000,000							0			1,000,000	
雑費	12,680	0	2,484	0	9,352	0	1,200	85,974	6,175,972	0	1,190	1,868	0	1,404	0	0	6,292,124	0	11,736	0	0	0	0	11,736			6,303,860	
租税公課	0	0	0	0	0	10,000	39,600	8,800	105,000	400	400	400	0	70,400	0	0	235,000	2,000	42,600	1,200	0	0	0	45,800			280,800	
減価償却費	0	0	0	0	0	0	56,619	3,867,247	33,277	0	0	0	0	0	0	0	3,957,143	0	0	0	0	0	0	0			3,957,143	
管理費																									78,993,346	0		78,993,346
役員報酬																									3,111,093			3,111,093
職員給与																									11,111,980			11,111,980
法定福利費(役員)																									2,162,370			2,162,370
退職給付費用																									1,061,122			1,061,122
賞与引当金繰入額																									1,001,541			1,001,541
借料及び損料																									32,745,672			32,745,672
備品費																									1,146,557			1,146,557
光熱水料																									1,547,197			1,547,197
通信運搬費																									725,861			725,861
雑役務費																									9,623,252			9,623,252
清掃料																									1,129,260			1,129,260
印刷製本費																									214,090			214,090
委員等旅費																									4,026,970			4,026,970
会議費																									737,149			737,149
職員旅費																									1,213,792			1,213,792
消耗品費																									555,157			555,157
法定福利費(アルバイト)																									510,712			510,712
厚生費																									169,416			169,416
雑費																									1,777,720			1,777,720
租税公課																									2,891,595			2,891,595
減価償却費																									2,150			2,150
支払寄付金																									1,528,690			1,528,690
経常費用計	13,003,211	2,012,405	102,255,154	51,983,408	15,385,466	4,881,198	68,808,719	189,696,257	170,276,688	7,382,669	8,063,603	14,315,199	0	89,156,282	0	0	737,220,259	12,851,600	107,313,226	3,272,277	17,486,656	58,263,676	0	199,187,435	78,993,346	0	1,015,401,040	
当期経常増減額	1,410,448	△ 1,052,582	△ 1,808,300	△ 1,456,713	△ 2,590,008	△ 2,245,688	△ 4,586,014	13,058,439	△ 590,567	△ 1,435,391	△ 2,220,701	△ 2,620,278	0	△ 4,776,650	0	0	△ 10,914,005	△ 2,142,617	△ 9,394,795	△ 945,124	△ 11,870,388	10,244,513	0	△ 14,108,411	18,405,107	0	△ 6,617,309	
2. 経常外増減の部																												
(1) 経常外収益																												
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

財 産 目 録
平成30年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金	現金手元有高	333,062
貯蔵品	切手および伝統証紙有高	1,989,110
銀行預金	三菱UFJ銀行他	117,666,301
未収金	特別展産地負担金他	12,619,535
前払金	展示場動産保険	395,600
仮払金		477,232
流動資産合計		133,480,840
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
投資有価証券	利付国債	190,280,000
	社債ほか	360,858,000
銀行預金	普通預金(三菱UFJ他)	223,456,500
基本財産合計		774,594,500
(2) 特定資産		
退職給付引当資産	退職給与分	52,003,182
運営強化基金資産		50,000,000
特定資産合計		102,003,182
(3) その他の固定資産		
什器備品	事務用備品、センター備品	16,357,922
電話加入権	NTT	643,078
その他の固定資産合計		17,001,000
固定資産合計		893,598,682
資産合計		1,027,079,522
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	WAZA展経費他	88,728,557
預り金	職員等源泉所得税他	2,073,194
前受金	特別展出品管理料他	791,256
仮受金	青山スクエア売上入金分	137,191
賞与引当金	職員賞与引当金	5,007,649
流動負債合計		96,737,847
2. 固定負債		
退職給付引当金		57,308,751
固定負債合計		57,308,751
負債合計		154,046,598
正味財産		873,032,924

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

①満期保有目的の債券

償却原価法（定額法）によっている。

②その他有価証券

時価のあるもの…決算時の市場価格等に基づく時価法（売却原価は移動平均法により算定）によっている。

時価のないもの…移動平均法による原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

什器備品…定額法によっている。

無形固定資産

定額法によっている。なお、ソフトウェアについては法人内における利用可能期間（5年）に基づき定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金 …債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については、過去の貸倒実績をもとに算出した貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

賞与引当金 …職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

退職給付引当金…職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。退職給付債務は期末要支給額に基づいて計算し、会計基準変更時差異は15年で償却している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式に拠っている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及び残高

基本財産及び特定資産の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	689,284,500	11,209,934	149,356,434	551,138,000
銀行預金	81,010,566	142,445,934	0	223,456,500
小計	770,295,066	153,655,868	149,356,434	774,594,500
特定資産				
退職給付引当資産	52,003,182	0	0	52,003,182
運営強化基金資産	50,000,000	0	0	50,000,000
小計	102,003,182	0	0	102,003,182
合計	872,298,248	153,655,868	149,356,434	876,597,682

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの 充当額)	(うち一般正 味財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	551,138,000	(551,138,000)	-	-
銀行預金	223,456,500	(223,456,500)	-	-
小計	774,594,500	(774,594,500)	-	-
特定資産				
退職給付引当資産	52,003,182	-	-	(52,003,182)
運営強化基金資産	50,000,000	-	(50,000,000)	(0)
小計	102,003,182	-	(50,000,000)	(52,003,182)
合計	876,597,682	(774,594,500)	(50,000,000)	(52,003,182)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	36,048,945	19,691,023	16,357,922
合計	36,048,945	19,691,023	16,357,922

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	帳簿価額	時価	評価損益
基本財産			
国際復興開発銀行パワーリバース債	250,000,000	249,625,000	△ 375,000
合計	250,000,000	249,625,000	△ 375,000

注) 上記債券は、証券会社が発行するいわゆる「しくみ債」であって、この債券はその性格上市場性がないため、時価の評価が困難な債券です。従って、発行した証券会社によれば、上記の時価は次のような前提条件のもとで算出した時価情報となっています。

証券会社によれば、

- (1) 証券会社が定める評価基準日及び評価方法による評価額を時価情報として記載・提供したものであること。
- (2) ただし、財務諸表、税務申告書、その他官公庁等への届出書・報告書の作成という目的に適合しているか否かについては一切保証するものではないこと。
- (3) 時価情報を提供する条件として、何らの表明も保証も行わないこと。
- (4) 時価情報の価格決定に関する情報の正確さ、信頼性、完全性及びその妥当性に関していかなる目的においても一切の説明や保証はしないこと。
- (5) 時価情報作成後、公表等時価または評価・算定時価の修正がある場合、記載されている時価情報を予告なく変更することがあること。

以上の条件で時価が設定されていますが、いずれの債券も満期保有を目的としているため、満期には購入時の額面で償還されるものです。

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
国庫補助金	経済産業省	0	700,000,000	700,000,000	0	—
合計		0	700,000,000	700,000,000	0	

7. その他

(1)退職給付関係

①採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

②退職給付債務及びその内訳

(単位:円)

①退職給付債務	68,745,863
②会計基準変更時差異の未処理額	△ 11,437,112
③退職給付引当金(①+②)	57,308,751

③退職給付費用に関する事項

(単位:円)

①勤務費用	1,493,195
②会計基準変更時差異の費用処理額	3,812,374
③退職給付費用(①+②)	5,305,569

④退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末要支給額を基礎として計算している。

⑤会計基準変更時差異の処理年数

15年 (残存3年)

8. 実施事業資産

実施事業資産は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高
什器備品	16,355,764
合計	16,355,764

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記2「基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載しているため、記載を省略している。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	4,932,778	5,007,649	4,932,778	0	5,007,649
退職給付引当金	52,003,182	5,305,569	0	0	57,308,751

監 査 報 告 書

平成30年 6 月 1 日

一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会
代表理事 安 藤 重 良 殿

一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会

監事 加 藤 庄 平 ㊞

監事 阿 久 津 正 志 ㊞

監事 山 田 ひ さ の ㊞

一般財団法人として平成29年度(平成29年4月1日～平成30年3月31日)における一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会の業務および財産の状況ならびに公益目的支出計画の実施状況について、法令および定款に基づき監査を行ったので、次の通り報告する。

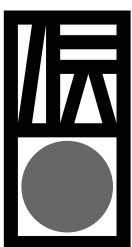
1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを実施し、計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査については、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて理事の業務遂行の妥当性を検討した。
- (3) 公益目的支出計画実施報告については、事業報告、財務諸表、および関係書類の閲覧など必要と認められる監査手続きを用いて、公益目的支出計画の実施状況の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 事業報告の内容は、事実に従い、一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会の状況を正しく示しているものと認める。また、理事の業務執行に関する不正行為、または法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。
- (2) 貸借対照表、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表及び財産目録は、会計帳簿の記録金額と一致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示しているものと認める。
- (3) 公益目的支出計画実施報告書の内容は、法令または定款に従い、一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認める。

以上



一般財団法人

伝統的工芸品産業振興協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 8-1-22 赤坂王子ビル 2F
TEL. 03-5785-1001 URL. <http://kougeihin.jp>